

令和8年度 仕様書

工事名称 川越中央消防署エレベーター改修工事

工事場所 川越市新宿町2丁目14番地7

【工事大要】

川越中央消防署のエレベーターを改修するものである。
構造・規模 RC造 地上3階建て

- ・建築工事 一式
- ・昇降機設備工事 一式
- ・電気設備工事 一式

本工事は、「週休2日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

《週休2日制適用工事(現場閉所型)に係る特記仕様書》

本工事は「週休2日制適用工事(現場閉所型)」の対象工事である。

本工事は、完全週休2日を採用している。週休2日が守れなかった場合は減額変更となります。

実施は、川越地区消防組合週休2日制適用工事要領(建築工事)(令和8年2月1日施行)によるものとする。

同要領は、川越地区消防組合ホームページで確認のこと。

川越地区消防組合ホームページ

<https://www.119kawagoechiku.jp/soumu/nyusatu/nyusatu/nyusatu.htm>

川越地区消防組合

川越中央消防署エレベーター改修工事 設計図

図面リスト

図面No.	図面名称
A-1	特記仕様書（改修その1）
-2	特記仕様書（改修その2）
-3	特記仕様書（改修その3）
-4	案内図・配置図兼仮設計図面（参考）
-5	各階平面図
-6	1階 更衣室 平面詳細図・天井伏図等
-7	1階 更衣室・廊下側 展開図
-8	雑詳細図
E-1	電気設備特記仕様書
-2	1階 幹線・動力設備平面図（改修前・後）
-3	1階 電灯・コンセント設備平面図（改修前・後）
-4	1階 弱電設備平面図（改修前・後）
M-1	エレベータ図1
-2	エレベータ図2
-3	エレベータ図3
-4	エレベータ図4



株式会社

舞総合設計

MAI Architects & Engineers
Feb. 27, 2026

E-mail	office@mai-arch-eng.co.jp
Tel	049-223-1001
Fax	049-226-0404
URL	http://www.mai-arch-eng.co.jp
住所	埼玉県川越市仙波町2-6-11

工 事 名	川越中央消防署エレベーター改修工事	
I 工事概要		
1. 工事場所	川越市新宿町2丁目14番地7	
2. 敷地面積	3,097㎡	
3. 工事種目 (建物概要)	棟名称：川越中央消防署(用途：消防署) 鉄筋コンクリート造 地上3階建 延べ面積 1,772.93㎡	
4. 工事内容	川越中央消防署 ・E・V改修 ・E・V機械室改修(床・壁・天井等)	
II 建築改修工事仕様	<p>(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)&及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。</p> <p>なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。</p> <p>(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。</p> <p>(3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、①印の付いたものを適用する。②印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ③印と④印の付いた場合は、共に適用する。⑤印と⑥印の場合は、⑦のみを適用する。 3) 特記事項に記載の{ . . . }内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の[. . .]内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5) 特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。 7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。 なお、[G]印は設計図書で定めのある品目を示す。 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。</p>	

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	・埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書) ※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版) なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
	② 条件明示事項	保険の種類 ※法定外の労災保険 [1.1.3] (工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの)火災保険含む 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間
	③ 工事実績情報の登録	※行う(請負代金額500万円以上、10日以内に登録) ・行わない [1.1.4][1.1.8]
	4 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速(Vo= m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表() ・大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200 ・1/150 ・1/120 ・ 図示() 確認箇所()
	5 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 [1.1.7] ・監督員指定の別契約工事を行う全体調整に全面的に協力する。
	6 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12、13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物

7 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4][1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する(CD-R又はDVD-Rで1部提出) ・適用しない
8 電気保安技術者	適用する [1.3.3][1.3.1]
⑨ 施工条件	本工事は「週休2日制適用工事(現場閉鎖型)」の対象工事である。 実施は、川越地区消防組合週休2日制適用工事(建築工事)(令和8年2月1日施行)による。
⑩ 施工中の安全確保	現場作業期間は令和9年6月1日から令和9年7月31日までとする。 (仮設工事等の準備片付け作業を除く) 本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者(統括安全衛生管理義務者)とする。 [1.3.7]
11 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]
⑫ 発生材の処理等	引渡しを要するもの [1.3.12][1.1.13] ※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)[「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
⑬ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。 [1.4.2]
⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 [1.4.1][1.4.3] ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
⑮ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のもを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものである場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 H18.2.15)に準拠した証明書を監督員に提出する。 [1.4.2]
⑯ 石綿含有建材の調査	調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 資与資料(既存分析調査書類) ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
⑰ 石綿含有建材調査(設計時実施済)	分析結果 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
⑱ 石綿含有建材調査(設計時実施済)	分析結果 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

17 技能士	<table border="1"> <tr> <td>工事種別</td> <td>適用技能士 [1.6.2][1.3.3]</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・アスファルト防水工事業業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事業業 ・塩化ビニルシート防水工事業業 ・シート防水工事業業 ・改質アスファルトシート工法防水工事業業 ・左官作業</td> <td>・ウレタン系塗膜防水工事業業 ・合成ゴム系シート防水工事業業 ・FRP防水工事業業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・左官作業 ・建築塗装作業</td> <td>・内外装板金作業 ・タイル張り作業 ・樹脂接着剤注入工事業業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>・ビル用サッシ工事業業 ・自動ドア工事業業</td> <td>・ガラス工事業業 ・建築フィルム作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事業業 ・木質系床仕上げ工事業業 ・ボード仕上げ工事業業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事業業 ・壁装作業</td> <td>・カーペット系床仕上げ作業 ・鋼製下地工事業業 ・タイル張り作業 ・保温保冷工事業業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>・木工塗装作業</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・鉄筋組立て作業 ・とび作業</td> <td>・型枠工事業業 ・構造物鉄工事業業</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・コンクリートポンプ工事業業</td> <td></td> </tr> </table>	工事種別	適用技能士 [1.6.2][1.3.3]	仮設工事	・とび作業	防水改修工事	・アスファルト防水工事業業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事業業 ・塩化ビニルシート防水工事業業 ・シート防水工事業業 ・改質アスファルトシート工法防水工事業業 ・左官作業	・ウレタン系塗膜防水工事業業 ・合成ゴム系シート防水工事業業 ・FRP防水工事業業	外壁改修工事	・左官作業 ・建築塗装作業	・内外装板金作業 ・タイル張り作業 ・樹脂接着剤注入工事業業	建具改修工事	・ビル用サッシ工事業業 ・自動ドア工事業業	・ガラス工事業業 ・建築フィルム作業	内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事業業 ・木質系床仕上げ工事業業 ・ボード仕上げ工事業業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事業業 ・壁装作業	・カーペット系床仕上げ作業 ・鋼製下地工事業業 ・タイル張り作業 ・保温保冷工事業業	塗装改修工事	・木工塗装作業	・建築塗装作業	耐震改修工事	・鉄筋組立て作業 ・とび作業	・型枠工事業業 ・構造物鉄工事業業	その他	・コンクリートポンプ工事業業	
工事種別	適用技能士 [1.6.2][1.3.3]																									
仮設工事	・とび作業																									
防水改修工事	・アスファルト防水工事業業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事業業 ・塩化ビニルシート防水工事業業 ・シート防水工事業業 ・改質アスファルトシート工法防水工事業業 ・左官作業	・ウレタン系塗膜防水工事業業 ・合成ゴム系シート防水工事業業 ・FRP防水工事業業																								
外壁改修工事	・左官作業 ・建築塗装作業	・内外装板金作業 ・タイル張り作業 ・樹脂接着剤注入工事業業																								
建具改修工事	・ビル用サッシ工事業業 ・自動ドア工事業業	・ガラス工事業業 ・建築フィルム作業																								
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事業業 ・木質系床仕上げ工事業業 ・ボード仕上げ工事業業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事業業 ・壁装作業	・カーペット系床仕上げ作業 ・鋼製下地工事業業 ・タイル張り作業 ・保温保冷工事業業																								
塗装改修工事	・木工塗装作業	・建築塗装作業																								
耐震改修工事	・鉄筋組立て作業 ・とび作業	・型枠工事業業 ・構造物鉄工事業業																								
その他	・コンクリートポンプ工事業業																									
18 化学物質の濃度測定	(1.5.9)[1.7.9] <table border="1"> <tr> <td>対象化学物質</td> <td>判定基準</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>100µg/m³(0.08ppm)以下</td> <td>※厚生労働省</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>260µg/m³(0.07ppm)以下</td> <td>が定める指針</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>200µg/m³(0.05ppm)以下</td> <td>値、量単位の</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>3,800µg/m³(0.88ppm)以下</td> <td>換算は25℃</td> </tr> <tr> <td>スチレン</td> <td>220µg/m³(0.05ppm)以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パラジクロロベンゼン</td> <td>240µg/m³(0.04ppm)以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①検体の採取方法 ※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法) ・吸引方式(アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法) ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT一吸光度法のうち採取機器に適合した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。 測定対象室 ・監督員の指定する室(1室 更衣室) ・図示 測定箇所数 ※() ・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部</p> <p>中間検査 ※行う(川越市工事検査規則) ・行わない [1.7.2][1.5.1] 中間検査実施回数(1)</p> <p>完成図等の種類及び記入内容 [1.8.1~3][1.6.1~3] 完成(竣工)図(※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの) 図面情報電子化媒体 ※CD-R又はDVD-R、1部 CADデータの形式 ※SXF(sfc) ・DXF ①JWW ・DWG</p> <p>エレベーター工事 ①あり(※エレベーター機器類) ・なし [1.6.4]</p> <p>・予備材料 ※監督員の指示による ・下請契約 ※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。</p>	対象化学物質	判定基準	備考	ホルムアルデヒド	100µg/m³(0.08ppm)以下	※厚生労働省	トルエン	260µg/m³(0.07ppm)以下	が定める指針	キシレン	200µg/m³(0.05ppm)以下	値、量単位の	エチルベンゼン	3,800µg/m³(0.88ppm)以下	換算は25℃	スチレン	220µg/m³(0.05ppm)以下		パラジクロロベンゼン	240µg/m³(0.04ppm)以下					
対象化学物質	判定基準	備考																								
ホルムアルデヒド	100µg/m³(0.08ppm)以下	※厚生労働省																								
トルエン	260µg/m³(0.07ppm)以下	が定める指針																								
キシレン	200µg/m³(0.05ppm)以下	値、量単位の																								
エチルベンゼン	3,800µg/m³(0.88ppm)以下	換算は25℃																								
スチレン	220µg/m³(0.05ppm)以下																									
パラジクロロベンゼン	240µg/m³(0.04ppm)以下																									
⑰ 中間検査																										
⑱ 完成図等																										
⑲ 保証書																										
22 その他																										
2 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 ② 足場等 ・防音パネル ・防音シート [2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 [2.2.1][表2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。																									

日付	2026.2.27	工事名	川越中央消防署エレベーター改修工事	図面No.	A-1
改訂		図面名	特記仕様書(改修その1)		

<p>3 既存部分の養生</p> <p>4 仮設間仕切り</p> <p>5 監督員事務所</p> <p>6 現場表示板</p> <p>7 工事用水</p> <p>8 工事用電力</p> <p>9 工事用搬入路</p> <p>10 仮囲い</p> <p>11 交通誘導員</p> <p>12 快適トイレ</p>	<p>外部足場 ・設置する（設置範囲 ・図示 ・ ） ・設置しない 防護シート ・設置する（設置範囲 ・図示 ・ ） ・設置しない 内部足場 <input checked="" type="radio"/> 設置する（※脚立、足場板等 ・ ） ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 <input checked="" type="radio"/> D種 ・ E種 ） C種：利用可能なエレベーター（ ・図示 ・ ） D種：利用可能な階段 <input checked="" type="radio"/> 図示 ・ ）</p> <p>墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」（厚生労働省 H30.6.22）による。 ・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。</p> <p>幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2）</p> <p>既存部分 養生の方法（※ビニルシート、合板等 ・ ） 既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート等 ・ ） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（ ・ ビニルシート等 ・ ） 保管場所（ ・図示 ・ ） 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・図示 ・</p> <p>既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> <p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・ [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ（厚さmm）</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・木 ・軽量鉄骨</td> <td>・せつこうボード（9.5mm） 種別（ ）</td> <td>・無し ・片面</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> <td>・合板（9.0mm） 材種（ ）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防災シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）</p> <p>仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し ・片面</td> <td>※図示 ・ かし</td> <td>・有り ・無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）</p> <p>規模 ・ 既存建物内の一部を使用 [2.4.1] ・ 構内に新設 m² ※設置しない（下記備品のみ用意する） 備品（ 名分相当） ・机 ・椅子 ・書棚 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止用器具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター</p> <p>※設置する（{1.1.12}による表示 ・要 ・不要） ・設置しない [2.4.1]{1.1.12}</p> <p>構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（別途施設調整を行うこと）</p> <p>構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（別途施設調整を行うこと）</p> <p>※図示 ・</p> <p>※設置位置等は監督員の指示による <input checked="" type="radio"/> 図示</p> <p>必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ※監督員の指示による <input checked="" type="radio"/> 図示</p> <p>仕様 ※図示 ・</p>	種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材	・A種	・木 ・軽量鉄骨	・せつこうボード（9.5mm） 種別（ ）	・無し ・片面	※有り	・B種		・合板（9.0mm） 材種（ ）			※C種	単管	防災シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※図示 ・ かし	・有り ・無し	<p>3 ガラス</p> <p>4 内装改修工事</p> <p>1 改修範囲</p> <p>2 既存床の撤去及び下地補修</p>	<p>耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ・ D-1:1/300 ・ D-2:1/120 ・ D-3:1/100 ） （適用する建具 ※建具表による）</p> <p>材料 鋼板 <input checked="" type="radio"/> 亜鉛めっき鋼板 ・ <input checked="" type="radio"/> B種被膜鋼板 ・ <input checked="" type="radio"/> カ-鋼板 ・ <input checked="" type="radio"/> ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具（1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの） ※建具表による ・ 上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による <input checked="" type="radio"/> 建具表による ・ 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・</p> <p>[3.7][5.14.2~4]</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 ・合わせガラス</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</td> <td>※建具表による ・</td> </tr> <tr> <td>形状による種類</td> <td>・平面合わせガラス・曲面合わせガラス</td> </tr> <tr> <td>落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類</td> <td>・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</td> </tr> </table> <p><input checked="" type="radio"/> 強化ガラス</p> <table border="1"> <tr> <td>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称</td> <td>※建具表による ・</td> </tr> <tr> <td>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</td> <td>・Ⅰ類 ・Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>・熱線吸収板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <td>板ガラスの種類及び厚さによる種類</td> <td>※建具表による ・</td> </tr> <tr> <td>性能による種類</td> <td>・1種 ・2種</td> </tr> </table> <p>・複層ガラス</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</td> <td>※建具表による ・</td> </tr> <tr> <td>断熱性による区分</td> <td>・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</td> </tr> <tr> <td>日射取得性及び日射遮蔽性による区分</td> <td>・G ・S</td> </tr> <tr> <td>乾燥気体の種類</td> <td>・空気 ・アルゴン</td> </tr> </table> <p><input checked="" type="radio"/> ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td><input checked="" type="radio"/> シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ガラス留シーリング（両面）の打替は、SR-1とする</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） [6.2.2] <input checked="" type="radio"/> 下地モルタルとも <input checked="" type="radio"/> 図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] ※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示） ・図示</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)(b)による</p> <p>[6.5.2]</p> <p><input checked="" type="radio"/> 「合板の日本農林規格」による構造用合板 <input checked="" type="radio"/> G</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更衣室 床</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td>ラワン等</td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12 ・15</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>野縁等の種類 屋外（※25形 ・19形） 屋内（※19形 ・25形） [6.6.2~4] 屋外の形式及び寸法</p>	材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による ・	形状による種類	・平面合わせガラス・曲面合わせガラス	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による ・	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅲ類	板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・	性能による種類	・1種 ・2種	材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・	断熱性による区分	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ・S	乾燥気体の種類	・空気 ・アルゴン	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による	鋼製及び鋼製軽量	<input checked="" type="radio"/> シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	樹脂製	・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用	更衣室 床	※2級以上 ・1級	ラワン等	※1類 ・特類	※C-D以上	※12 ・15	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・	<p>野縁受、吊りボルト及びビニルサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野縁の間隔 ・図示 ・ 既存の埋込みインサート ・使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 <input checked="" type="radio"/> 行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所 引張試験にて確認する強度 ※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N ・行わない</p> <p>吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・ ・天井のふとところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・ ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・ 補強方法 ※図示 ・</p> <p>スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1] ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 <input checked="" type="radio"/> 図示 ・ スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による ・</p> <p>[6.8.2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※FS(複層ビニル床シート)</td> <td><input checked="" type="radio"/> 無地</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マーブル柄 ・柄物</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法 ・</p> <p>材質の種類 <input checked="" type="radio"/> 軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2] 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上 ・</p> <p>[6.9.2、3][表6.9.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td> <td>・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル</td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 ※模様のない無地 ・ バイル糸の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別（ ・A種 ・B種 ・C種） 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td rowspan="2">・全面接着工法 ・グリッパ-工法</td> <td rowspan="2">・適用する ・適用しない</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材(グリッパ-工法の場合) ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・</p> <p><input checked="" type="radio"/> タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・</p> <p>見切り、押え金物 材質（ ）種類（ ）形状等（※図示 ・ ）</p> <p> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3] ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・</p> <p>パーティクルボード <input checked="" type="radio"/> G</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 単板張りパーティクルボード</td> <td>・無研磨板(VN) ・研磨板(VS) ・10 ・12 ・15 ・18 <input checked="" type="radio"/> 20</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td>・単板オーバーレイ(DV) ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・塗装(DC) ・10(難燃) ・12(難燃) ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>せつこうボード製品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> せつこうボード(GB-R)</td> <td>・9.5(準不燃) <input checked="" type="radio"/> 12.5(不燃) ・15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せつこうボード(GB-NC)</td> <td>9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・シージングせつこうボード(GB-S)</td> <td>12.5(※不燃 ・準不燃)</td> </tr> </tbody> </table> <p>日付 2026.2.27 工事名 川越中央消防署エレベーター改修工事 図面No. A-2 改訂 図面名 特記仕様書（改修その2）</p>	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考	※FS(複層ビニル床シート)	<input checked="" type="radio"/> 無地	※2.0			・マーブル柄 ・柄物	・2.5		織り方	バイル形状	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル	バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5~7	・全面接着工法 ・グリッパ-工法	・適用する ・適用しない		・ループバイル	・4~6	・カット、ループ併用					バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		種類	厚さ(mm)、規格等	<input checked="" type="radio"/> 単板張りパーティクルボード	・無研磨板(VN) ・研磨板(VS) ・10 ・12 ・15 ・18 <input checked="" type="radio"/> 20	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ(DV) ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・塗装(DC) ・10(難燃) ・12(難燃) ・	種類	厚さ(mm)、規格等	<input checked="" type="radio"/> せつこうボード(GB-R)	・9.5(準不燃) <input checked="" type="radio"/> 12.5(不燃) ・15(不燃)	・不燃積層せつこうボード(GB-NC)	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)	・シージングせつこうボード(GB-S)	12.5(※不燃 ・準不燃)
	種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材																																																																																																																																																											
・A種	・木 ・軽量鉄骨	・せつこうボード（9.5mm） 種別（ ）	・無し ・片面	※有り																																																																																																																																																												
・B種		・合板（9.0mm） 材種（ ）																																																																																																																																																														
※C種	単管	防災シート																																																																																																																																																														
材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材																																																																																																																																																												
※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※図示 ・ かし	・有り ・無し																																																																																																																																																												
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による ・																																																																																																																																																															
形状による種類	・平面合わせガラス・曲面合わせガラス																																																																																																																																																															
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類																																																																																																																																																															
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による ・																																																																																																																																																															
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅲ類																																																																																																																																																															
板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・																																																																																																																																																															
性能による種類	・1種 ・2種																																																																																																																																																															
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・																																																																																																																																																															
断熱性による区分	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6																																																																																																																																																															
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ・S																																																																																																																																																															
乾燥気体の種類	・空気 ・アルゴン																																																																																																																																																															
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																																																														
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																														
鋼製及び鋼製軽量	<input checked="" type="radio"/> シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																														
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																														
樹脂製	・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																														
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																								
更衣室 床	※2級以上 ・1級	ラワン等	※1類 ・特類	※C-D以上	※12 ・15	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																								
種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																													
※FS(複層ビニル床シート)	<input checked="" type="radio"/> 無地	※2.0																																																																																																																																																														
	・マーブル柄 ・柄物	・2.5																																																																																																																																																														
織り方	バイル形状																																																																																																																																																															
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル																																																																																																																																																															
バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																												
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法 ・グリッパ-工法	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																													
・ループバイル	・4~6																																																																																																																																																															
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																
バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																											
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																												
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																												
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																												
種類	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																															
<input checked="" type="radio"/> 単板張りパーティクルボード	・無研磨板(VN) ・研磨板(VS) ・10 ・12 ・15 ・18 <input checked="" type="radio"/> 20																																																																																																																																																															
・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ(DV) ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・塗装(DC) ・10(難燃) ・12(難燃) ・																																																																																																																																																															
種類	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																															
<input checked="" type="radio"/> せつこうボード(GB-R)	・9.5(準不燃) <input checked="" type="radio"/> 12.5(不燃) ・15(不燃)																																																																																																																																																															
・不燃積層せつこうボード(GB-NC)	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																																																															
・シージングせつこうボード(GB-S)	12.5(※不燃 ・準不燃)																																																																																																																																																															

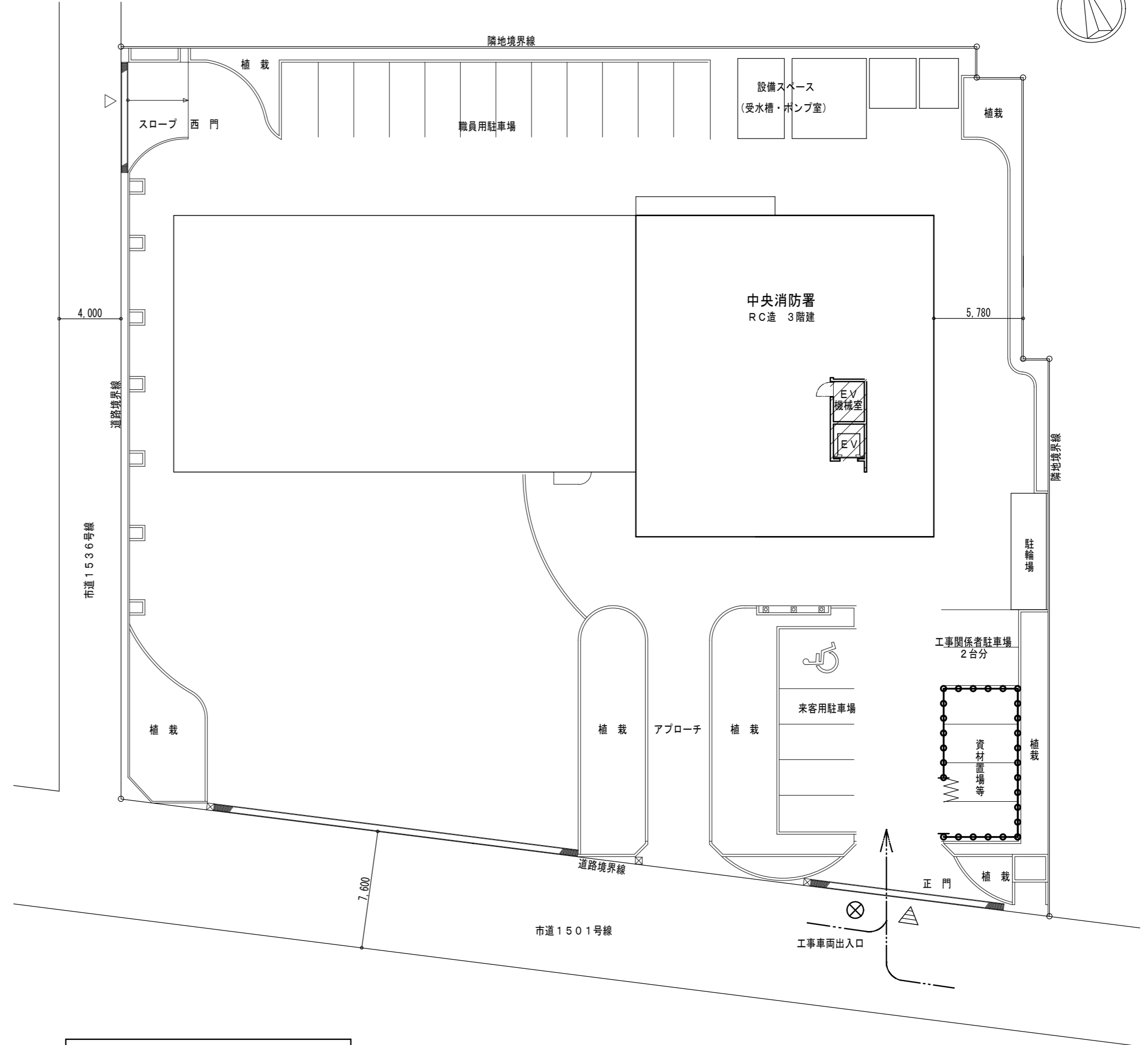
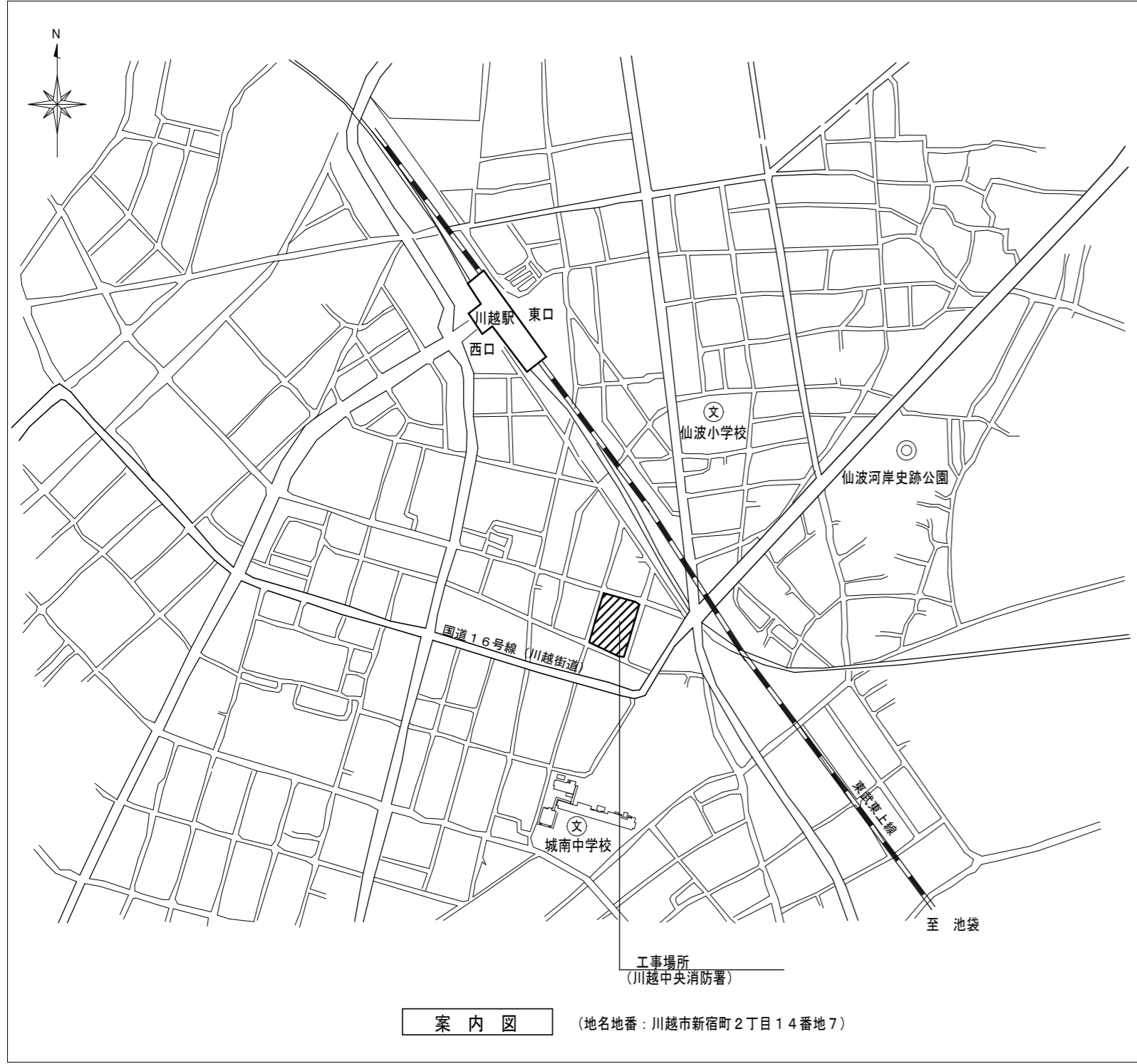
12 壁紙張り	・強化せっこうボード (GB-F)	・ 12.5 (不燃)	・ 15 (不燃)						
	・せっこうラスボード (GB-L)	9.5							
	①化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り	・ 9.5 (準不燃)						
	壁紙のホルムアルデヒド放放量 ※F☆☆☆☆ [6.14.2、3]								
	施工箇所	壁紙の種類		防火種別					
	更衣室	紙	織物	塩化ビニル	プラスチック	無機質	その他	・不燃・準不燃・難燃	
								・不燃・準不燃・難燃	
								・不燃・準不燃・難燃	
	モルタル及びせっこうプaster一面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・ A種								
	コンクリート面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・ A種								
	せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・ A種								
	13 カーテン	形式			開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル		・片引き	・手引き	・つまみひだ			・図示		
・ダブル		・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ					
			・電動	・プレーンひだ					
生地の仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの									
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、Gとする									
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上									
14カーテンレール		材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材							
		ステンレス製							
		強さによる区分 ※10-90							
		仕上げ ※アルマイト							
		形状 ※角形							
	材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材								
	ステンレス製								
	強さによる区分 ※10-90								
	仕上げ ※アルマイト								
	形状 ※角形								
	材種			寸法	形式	外枠	内枠		
	※アルミニウム製	①450×450	①一般形	・屋内外用	①額縁タイプ	①額縁タイプ			
	・600×600	・気密形	・屋内用	・目地タイプ	・目地タイプ				

7 塗装改修工事	①材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放放量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]			
		防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)			
		②下地調整	塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7]		
			※劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示		
			下地調整		
			下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修
			木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—
			鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—
			亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—
			亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—
			モルタル、せっこうプaster面	・RA種 ※RB種	・行う
			・行わない		
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種		・行う		
ALCパネル面			・行わない		
押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う			
	・RB種 ・RC種	・行わない			
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う			
	・RB種 ・RC種	・行わない			
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—			
(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。					
③素地ごしらえ	下地面等		種別		
	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種		
		透明塗料塗りの場合	・ A種 ※B種		
	鉄鋼面 (DP以外)		・ A種 ・ B種 ※C種		
	鉄鋼面 (DP)		・ A種 ※B種 ・ C種		
	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種		
	モルタル面及びせっこうプaster一面		・ A種 ※B種		
	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		・ A種 ※B種		
	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		・ A種 ・ B種		
	コンクリート面 (DPのみ)		・ A種 ※B種		
	せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種		
		目地：継目処理工法以外	・ A種 ※B種		

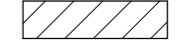

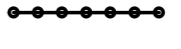


4 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]				
	素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別	
	鉄鋼面	SOP (工程の種別は [表7.4.3])	塗替え	A種	※C種
		EP-G (工程の種別は [表7.4.3])	新規見え掛り	A種	※A種
			新規見え隠れ	A種	※B種
		DP (工程の種別は [表7.4.4])	塗替え	・ A種 ※B種	※C種
	新規見え掛り		・ A種 ※B種	※A種	
	亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は [表7.4.5])	塗替え	・ A種 ※B種	※C種
			新規見え掛り	・ A種 ※B種	※A種
		EP-G (工程の種別は [表7.4.5])	塗替え	C種	※C種
			新規見え掛り	C種	※A種
	DP (工程の種別は [表7.4.6])	塗替え	B種	—	
新規		B種	—		
[7.5.2~7.12.2]					
塗装の種類		塗装面	工程		
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	塗料の種別 ※1種 ・ 2種	木部屋外	※B種 ・ 新規		
		木部屋内	※B種 ・ 新規		
		鉄鋼面	※B種 ・ 新規		
		亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※B種 ・ 新規		
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)		※B種	新規		
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種		
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種		
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級	—	—		
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級	—	—		
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ B-1種	—		
・つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種		
	屋内の木部	※B種	※A種		
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種		
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	・ B種 ※A種		
④合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP)		※B種	・ A種 ※B種		
⑤フレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・ A種	※B種		
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り	・オイルステイン塗り(OS)		
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	※B種		
つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、せっこうプaster面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり止め ※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしきり止めシーラーとする					

8 環境配慮改修工事	1 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]				
		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (処理作業室ごと)
		①②③	①②③	測定1	処理作業室内	・各2又は3点 ・ ()点
		※	※	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点 ・ ()点
		・	・	測定3	処理作業室内	・各2点 ・ ()点
		※	・	測定4	処理作業室内	・各1点 ・ ()点
		※	・	測定5	集じん・排気装置の出口吹出し風速1m/s以下の位置(処理作業室外の場合)	・各1点 ・ ()点
		※	・	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・ ()点
		※	※	測定7	処理作業室内	・各2点(①②③は各1点)
		※	※	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
		・	・	測定9	処理作業室内	・ ()点
		・	・	測定10	施工区画周辺又は敷地境界	・ ()点
さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。						
測定方法						
・自動測定器による測定						
測定4.5 ※パナソニック、粉じん相対温度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子自動計測器(リタムリアーモニター)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定						
・JIS K 3850-Iに基づいた測定						
	測定4.5	測定	測定			
ダクト径の直径(mm)	25	47	47			
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10			
試料の吸引時間(min)	30	120	240			
除去対象範囲 図示						
除去工法 ※[9.1.3](2)(7)による						
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※密封処理 ※湿潤化 固化						
除去した石綿含有吹付け材等の処分						
・埋立処分(管理型最終処分場)						
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)						

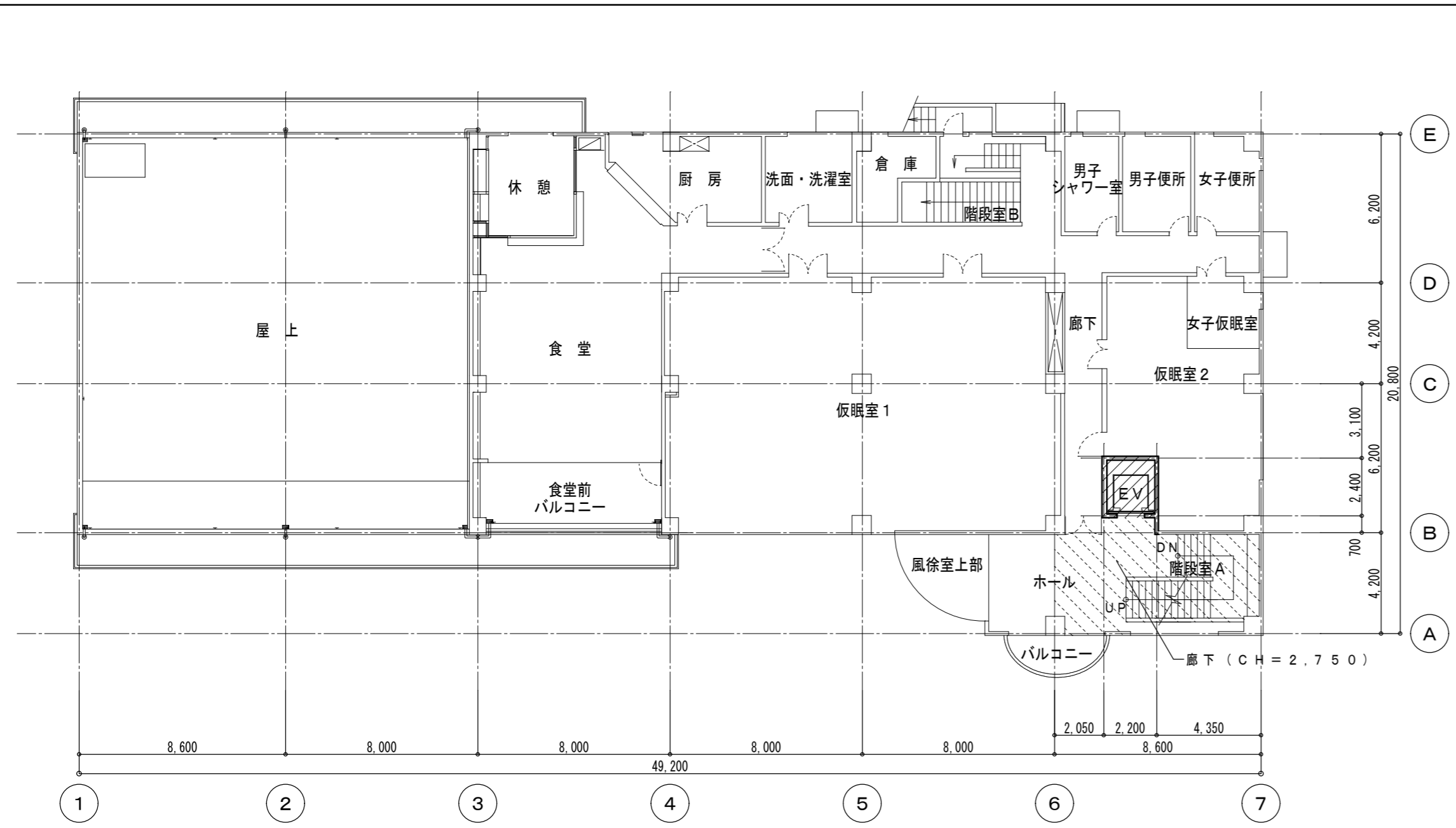
3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	除去工法 [9.1.4]			
	※[9.1.4](2)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合)			
	除去対象範囲 図示			
	・[9.1.3](2)による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合)			
	除去対象範囲 図示			
	除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置			
	※密封処理 ※湿潤化 固化			
	除去した石綿含有保温材等の処分			
	・埋立処分(管理型最終処分場)			
	・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)			
	4 石綿含有成形板の除去(レベル3)	除去対象範囲 内部(廊下中木) [9.1.5]		
		石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負圧不要)方法		
・ビニールシート等による養生を行う				
除去した石綿含有成形板の処分				
・石綿含有せっこうボード				
※埋立処分(管理型最終処分場)				
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板				
※埋立処分(安定型最終処分場)				
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)				
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分				
・埋立処分(安定型最終処分場)				
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)				
5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)	除去対象範囲 内部(廊下壁) [9.1.6]			
	着工前の試験施工 行う 行わない			
	除去工法(下記に示す)			
	除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止			
	※密封処理 ※湿潤化 固化			
	除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分			
	①埋立処分(安定型最終処分場)			
	・埋立処分(管理型最終処分場)			
	・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)			
	※除去は、「石綿含有建築用仕上塗材除去工事における石綿粉じん飛散防止処理技術」の審査証明書を取得した工法による(例:集塵装置付ディスクグラインダー工法)			
	※隔離養生(負圧不要)のうえ除去すること。			
	9 その他	※当施設は24時間稼働していることから、施設運営に支障をきたさぬよう配慮した計画にすること。		
※既存施設を汚損しないよう作業内容に適した養生をすること。				
※作業エリア周辺の清掃を適宜実施すること。				
※施設内のトイレを利用する場合は適宜清掃すること。				
※川越地区消防組合ワンデールレスポンス制度の対象工事である。				
※本工事に係る官公庁への諸手続きは、すべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。				



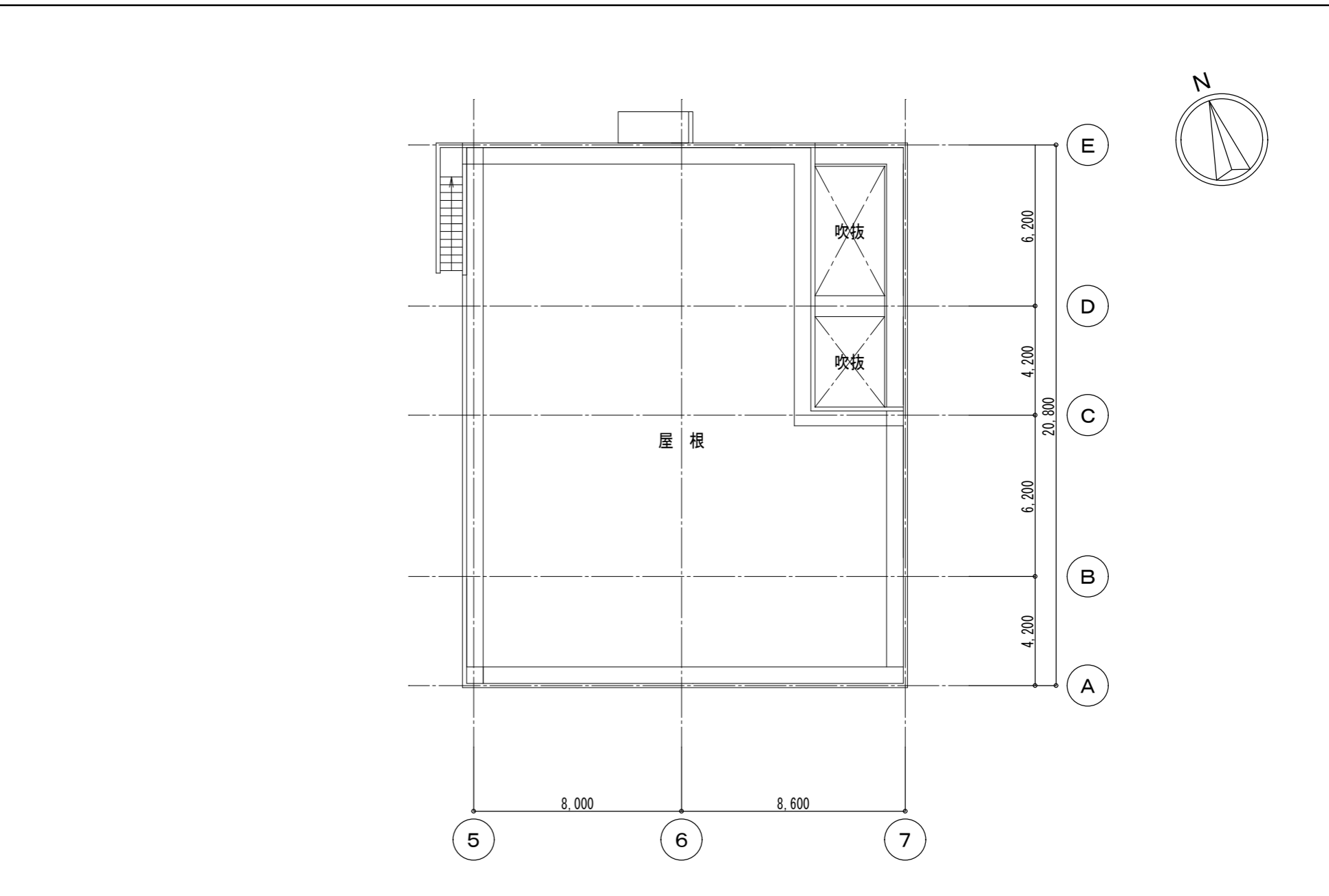
配置兼仮設計画図 1 : 250

- 図中凡例 —
-  ...は今回工事対象範囲を示す。
 -  ...はキャスターゲート巾3.6m×高2.0mを示す。
 -  ...はガードフェンスH1.8mを示す。
 -  ...交通整理員を示す。
 -  ...工事車両通行経路を示す。

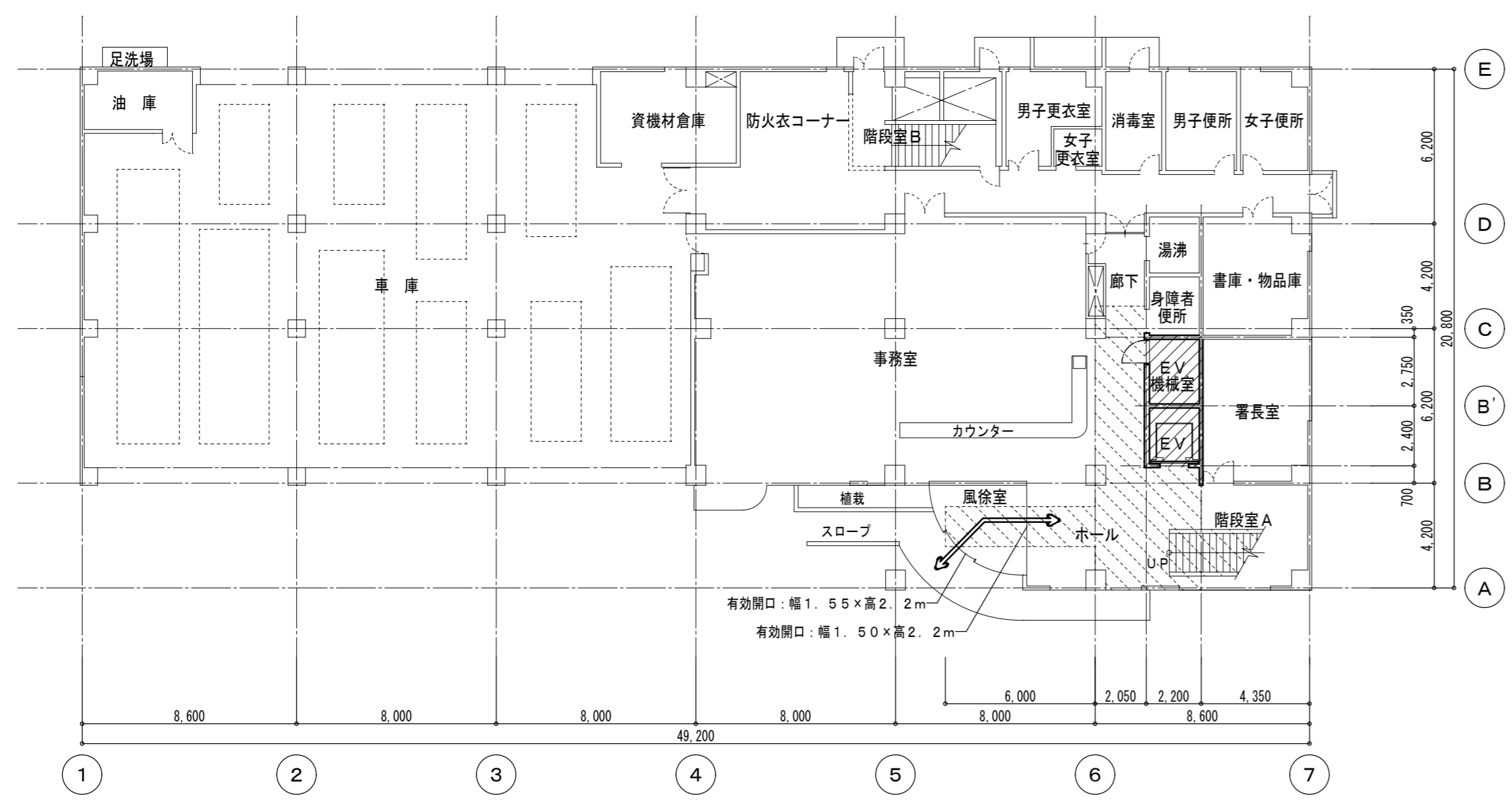
特記事項 ・図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A2版とした縮尺とする。	月日年	回数	訂正事項	竣工図	管理者	1級建築士 前田 勝之 大臣登録第81225号	E-mail office@mai-arch-eng.co.jp	図面番号 A - 4	工事名称 川越中央消防署エレベーター改修工事
				確認者	総括設計者				図面名称 案内図・配置図兼仮設計画図 (参考)
					承認	前田	主任	担当	栗田
								制作日 2026. 2. 27.	株式会社 舞総合設計 Architects & Engineers
								Scale A2 1 : 250	Fax 049-226-0404 Tel. 049-223-1001 http://www.mai-arch-eng.co.jp



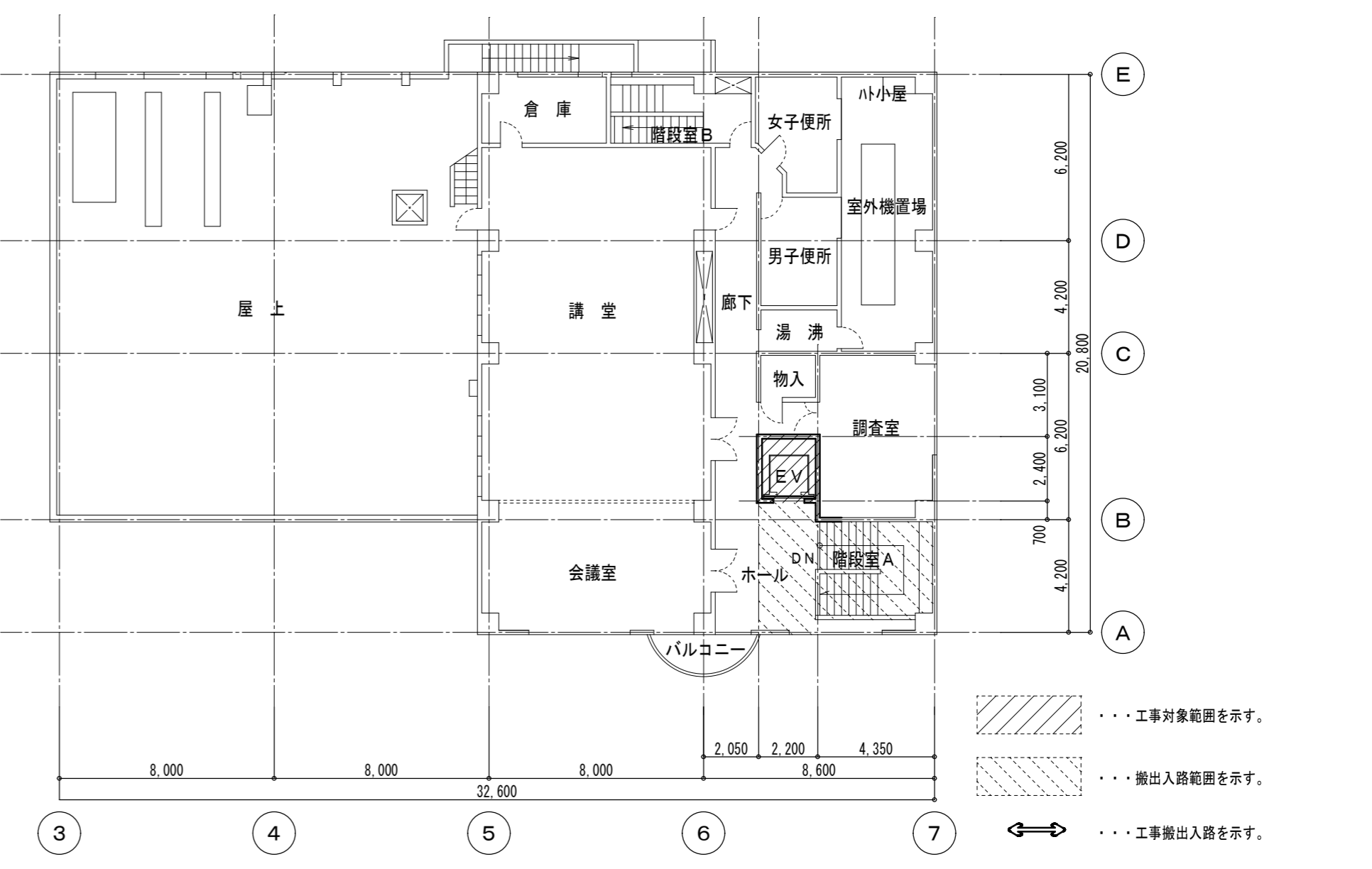
2階平面図 1 : 200



R階平面図 1 : 200



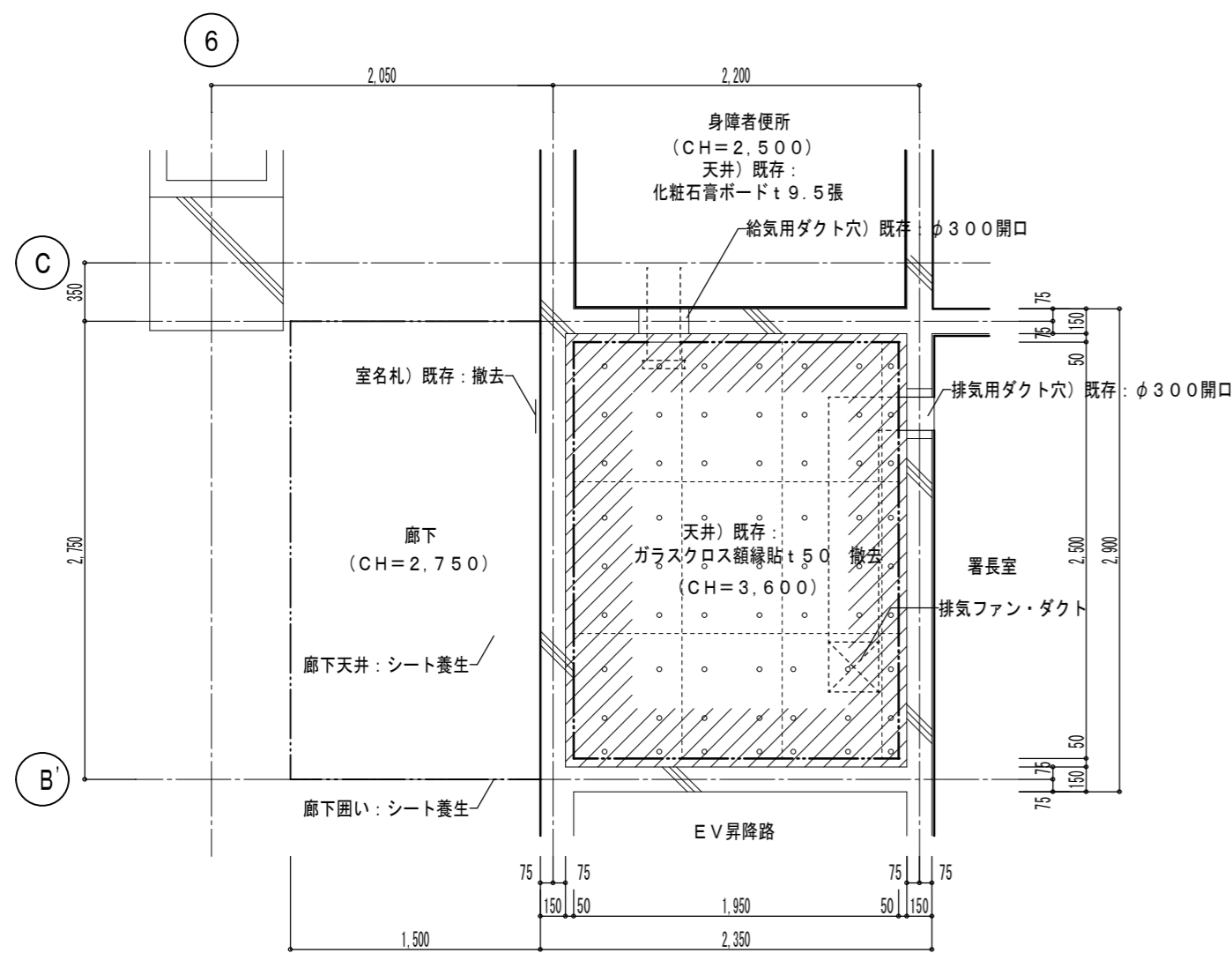
1階平面図 1 : 200



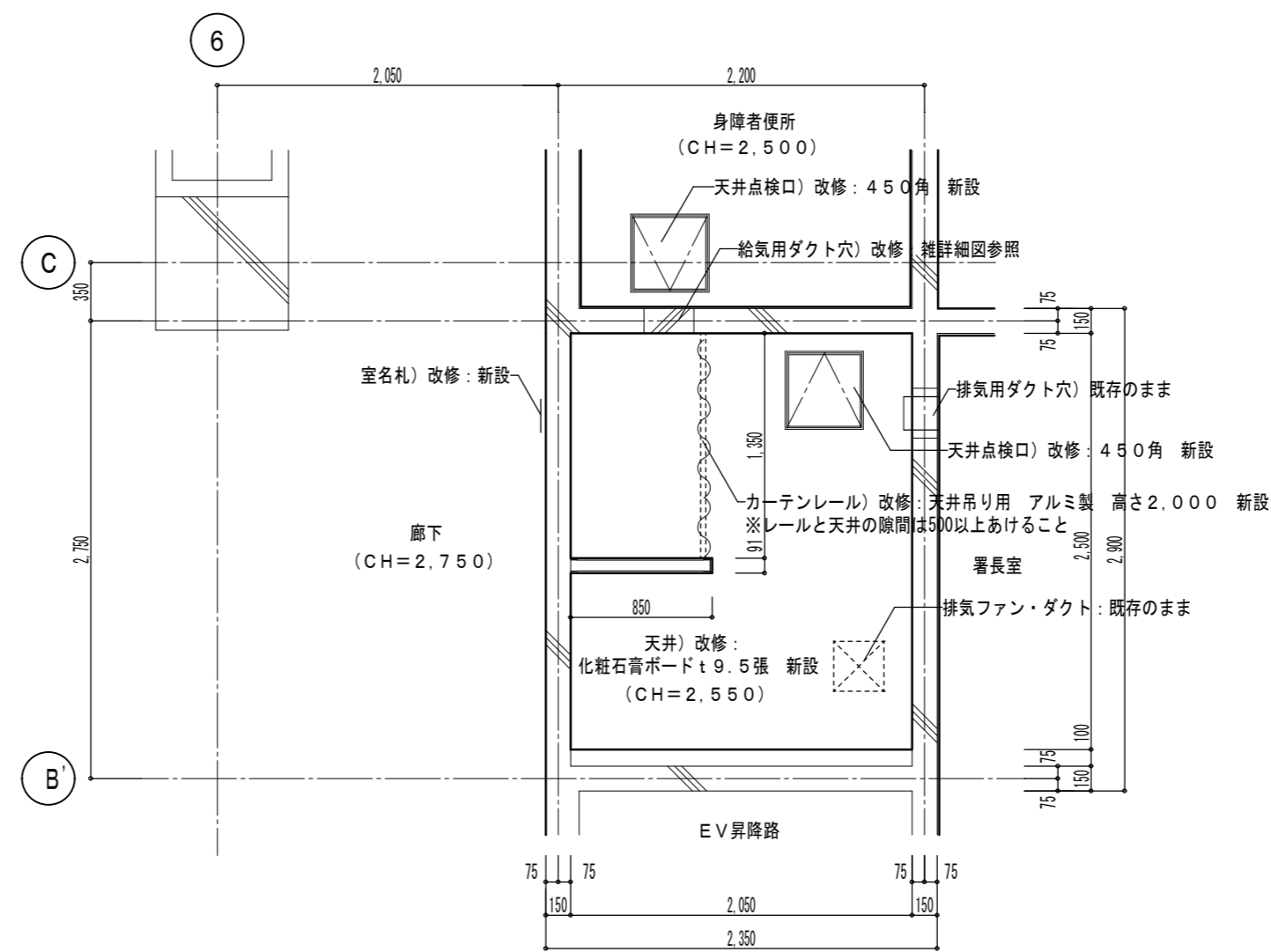
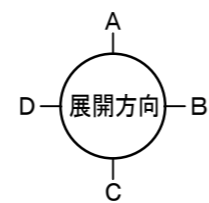
3階平面図 1 : 200

- ... 工事対象範囲を示す。
- ... 搬出入路範囲を示す。
- ... 工事搬出入路を示す。

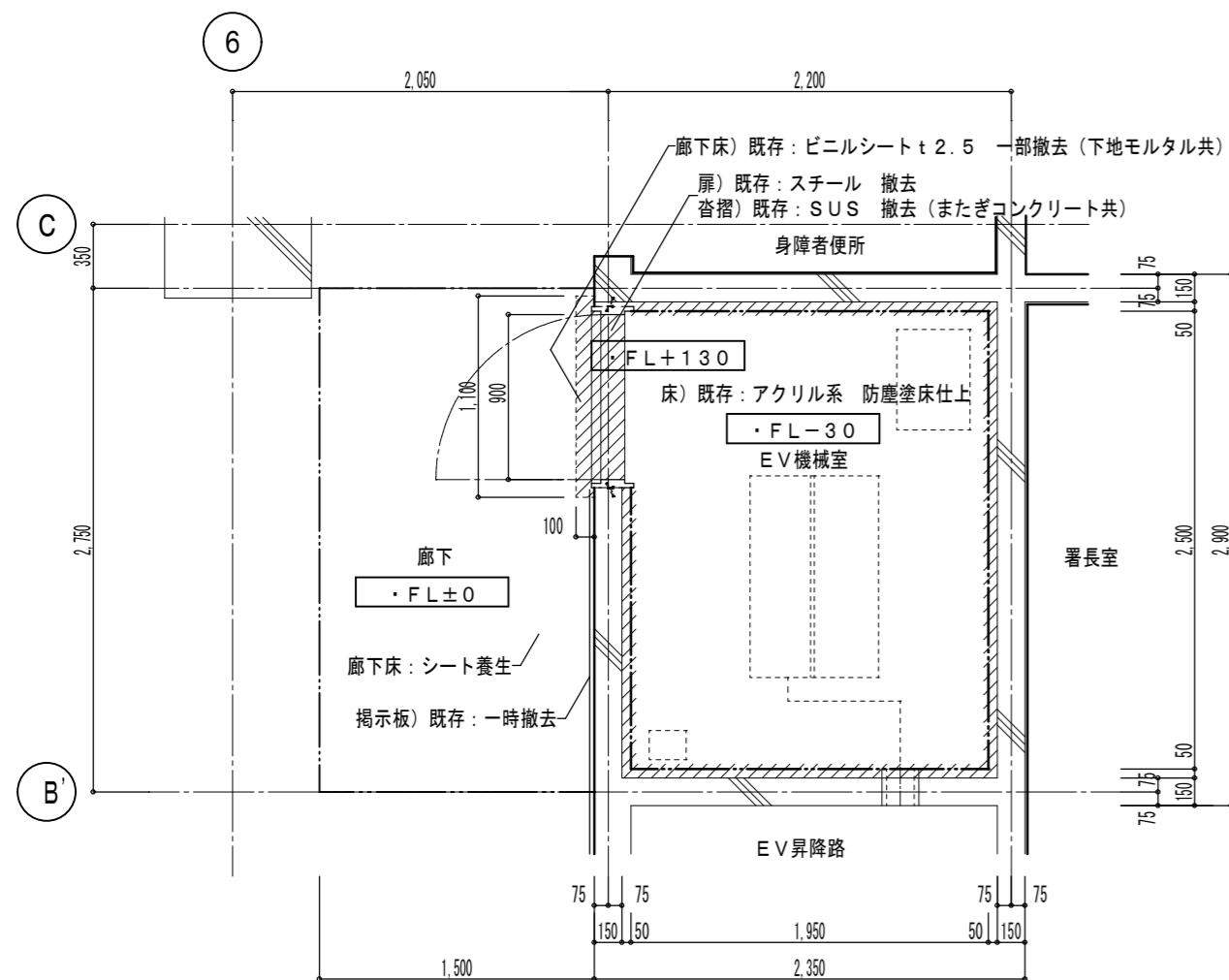
特記事項	月日年	回数	訂正事項	竣工図	管理者	1級建築士 前田 勝之 大臣登録第 81225号	E-mail office@mai-aroh-eng.co.jp	図面番号	A-5	工事名称	川越中央消防署エレベーター改修工事
				確認者	総括設計者		E-mail			図面名称	各階平面図
						承認	前田	主任	担当	製作日	2026. 2. 27.
								Scale	A2 1:200	株式会社 舞総合設計 NI Architects & Engineers	Fax 049-226-0404 Tel 049-223-1001 http://www.mai-aroh-eng.co.jp



1階 EV機械室 既存天井伏図 1:40

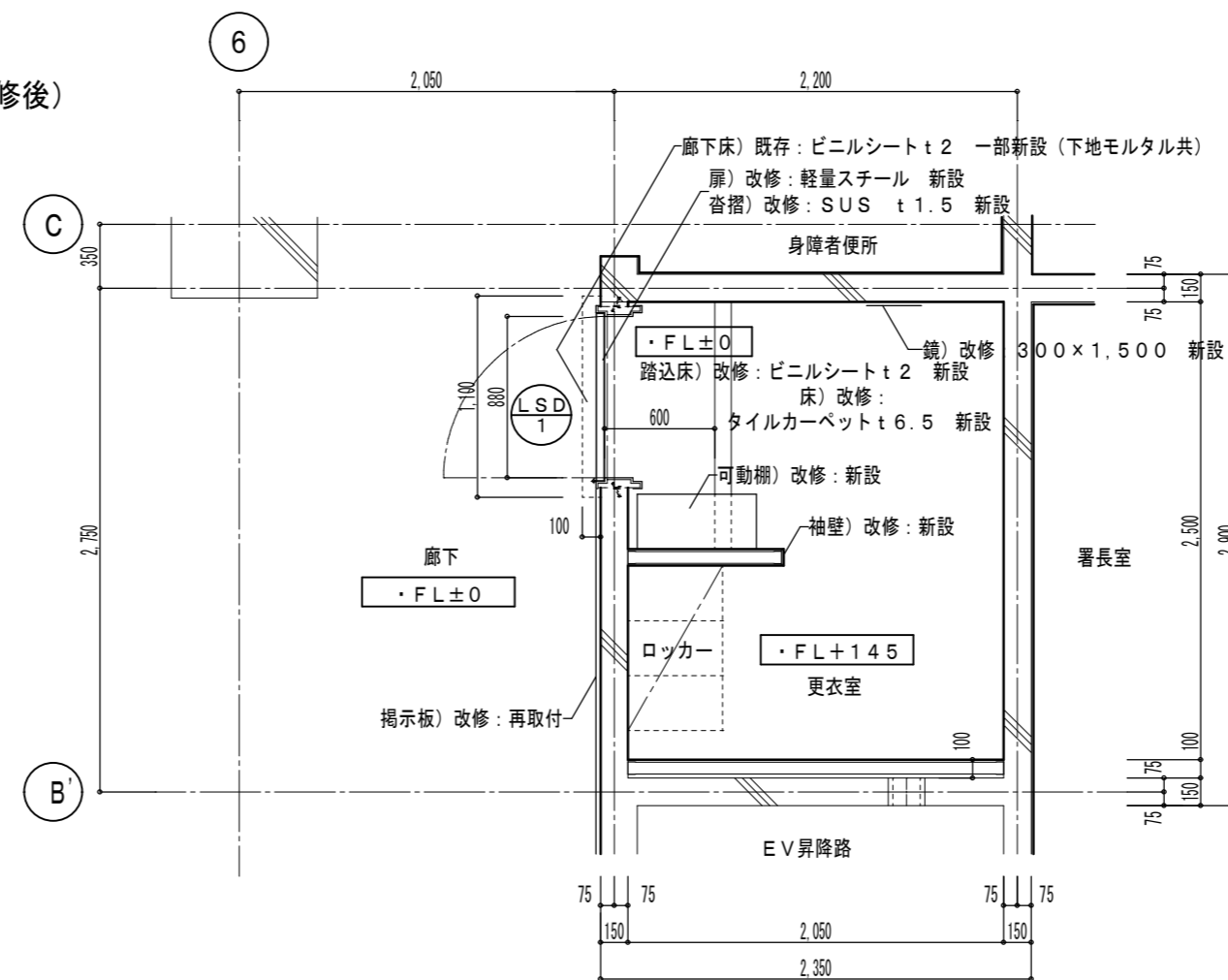


1階 更衣室 改修天井伏図 1:40



1階 EV機械室 既存平面詳細図 1:40

(改修前) → (改修後)



1階 更衣室 改修平面詳細図 1:40

既存仕上表

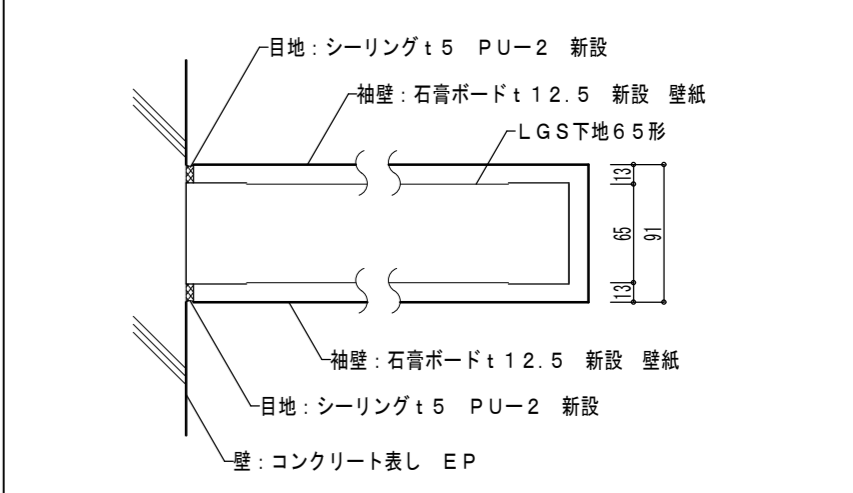
部位	1階 EV機械室
床	コンクリート直均しの上 アクリル系 防塵塗床仕上 (廊下床ビニルシートt2.5 一部撤去 (下地モルタル共))
巾木	コンクリート直均しの上 アクリル系 防塵塗床仕上 高150
壁	コンクリート直均しの上 ガラスクロス額縁貼 t50 撤去
天井	コンクリート直均しの上 ガラスクロス額縁貼 t50 撤去
その他	扉:撤去 柵:撤去(またぎ共) 室名札:撤去

改修仕上表

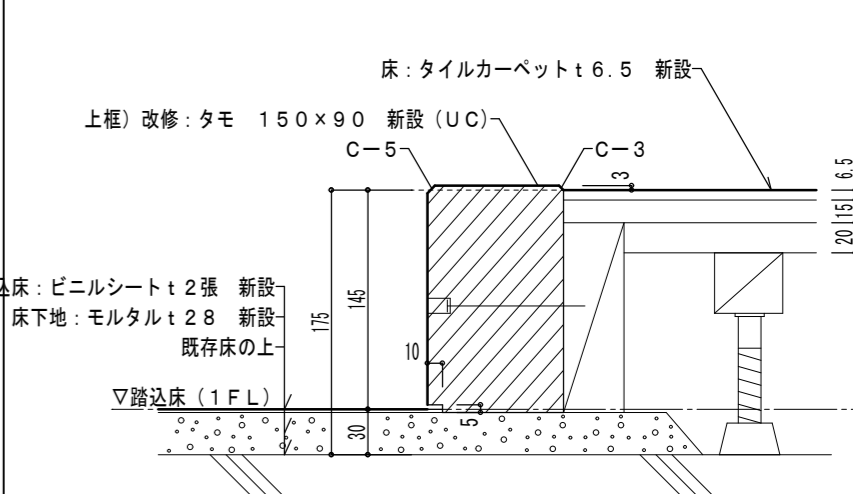
部位	1階 更衣室
床	既存の上 乾式置床パーティクルボードt20 ラワン合板t15張の上 タイルカーベットt6.5 新設 (踏込床:既存の上 モルタルt28 ビニルシートt2張 新設)
巾木	ビニル巾木 高60 新設
壁	B'通り壁 既存の上 LGS65形 石膏ボードt12.5 新設 壁紙(袖壁共) その他壁 コンクリート表し EP
天井	化粧石膏ボードt9.5張 新設 (LGS下地共)
その他	扉:新設(柵共) 天井点検口:新設 鏡:新設 カーテンレール:新設 室名札:新設 可動柵:新設

符号 室名	(既存) EV機械室 扉 撤去	
形態		x 1
見込	230 (厚45)	
形式	片開き(甲種防火戸 防音)	
材種	スチール SOP	
硝子	-	
金物	丁番 防音用グレモン錠 ドアクローザー	
備考	既存出入口扉撤去(柵、マガキコンクリート共)	
符号 室名	LSD 1 (改修) 更衣室 扉(カバー工法)	【新設】
形態		x 1
見込	250 (厚40)	
形式	片開き	
材種	軽量スチール 焼付塗装	
硝子	小窓:強化型板ガラスt5	
金物	丁番、レバーハンドル、サムターン表示、ドアクローザー	
備考	鍵は6本、柵 新設	

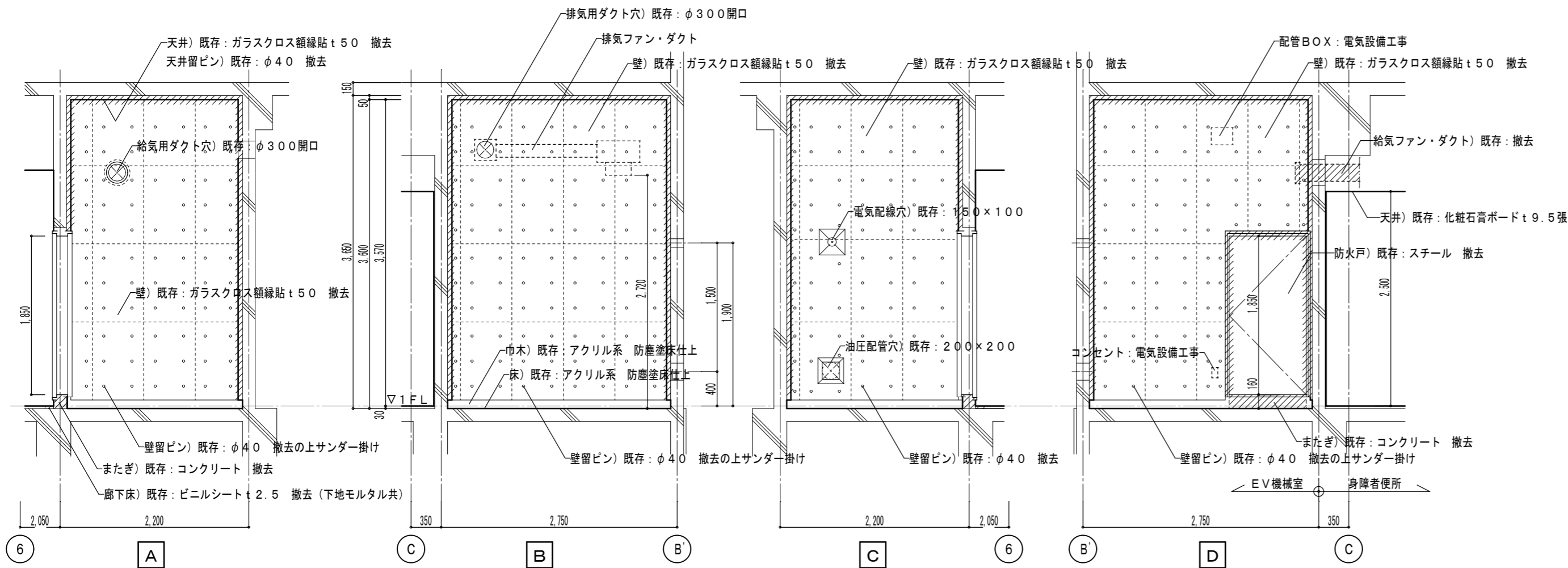
袖壁 平面詳細図 S:1/5



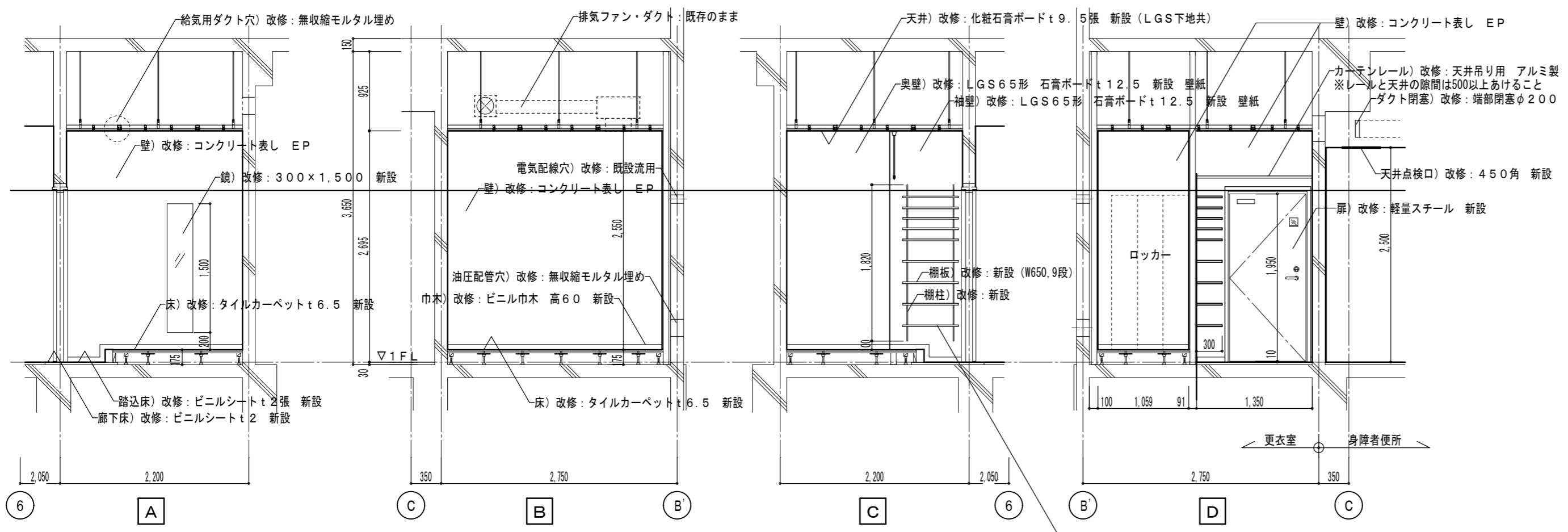
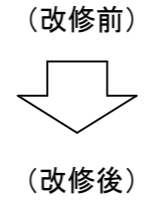
踏込床 断面詳細図 S:1/5



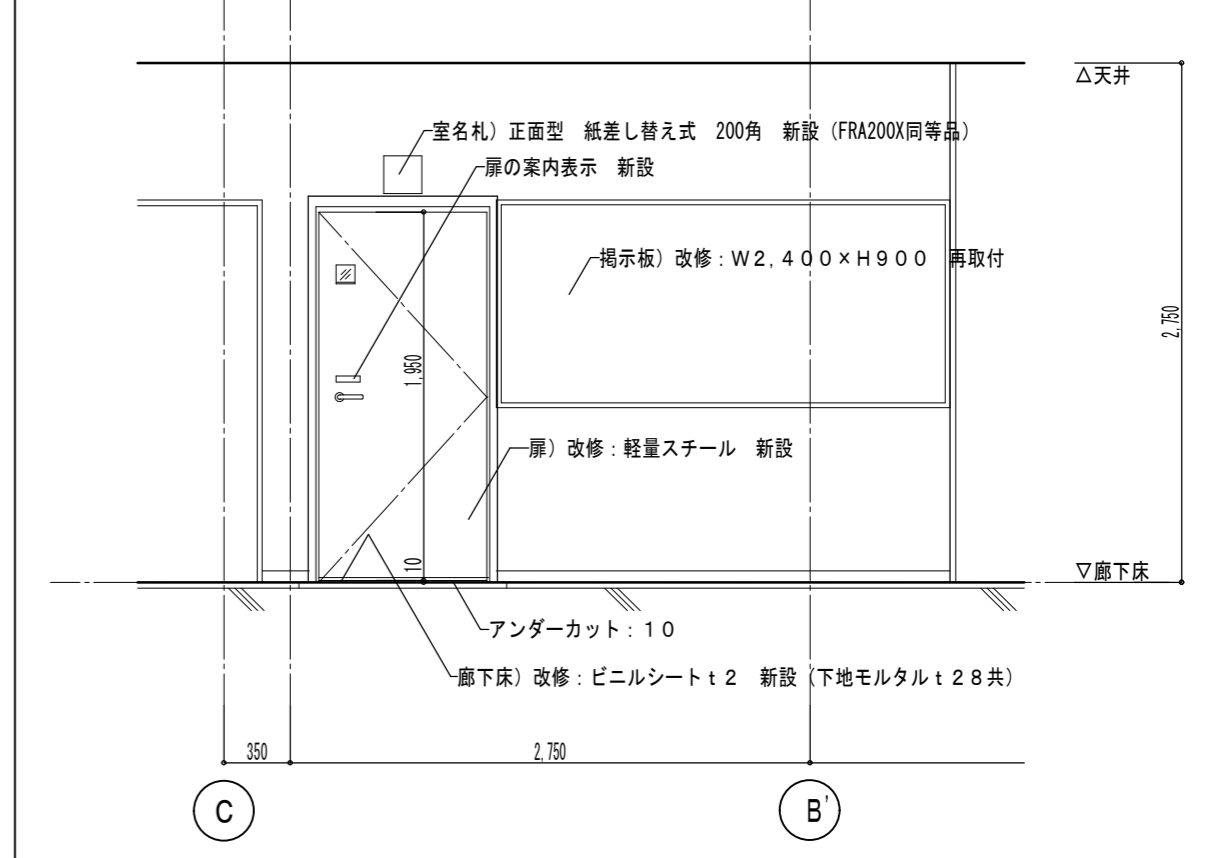
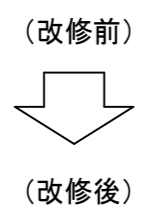
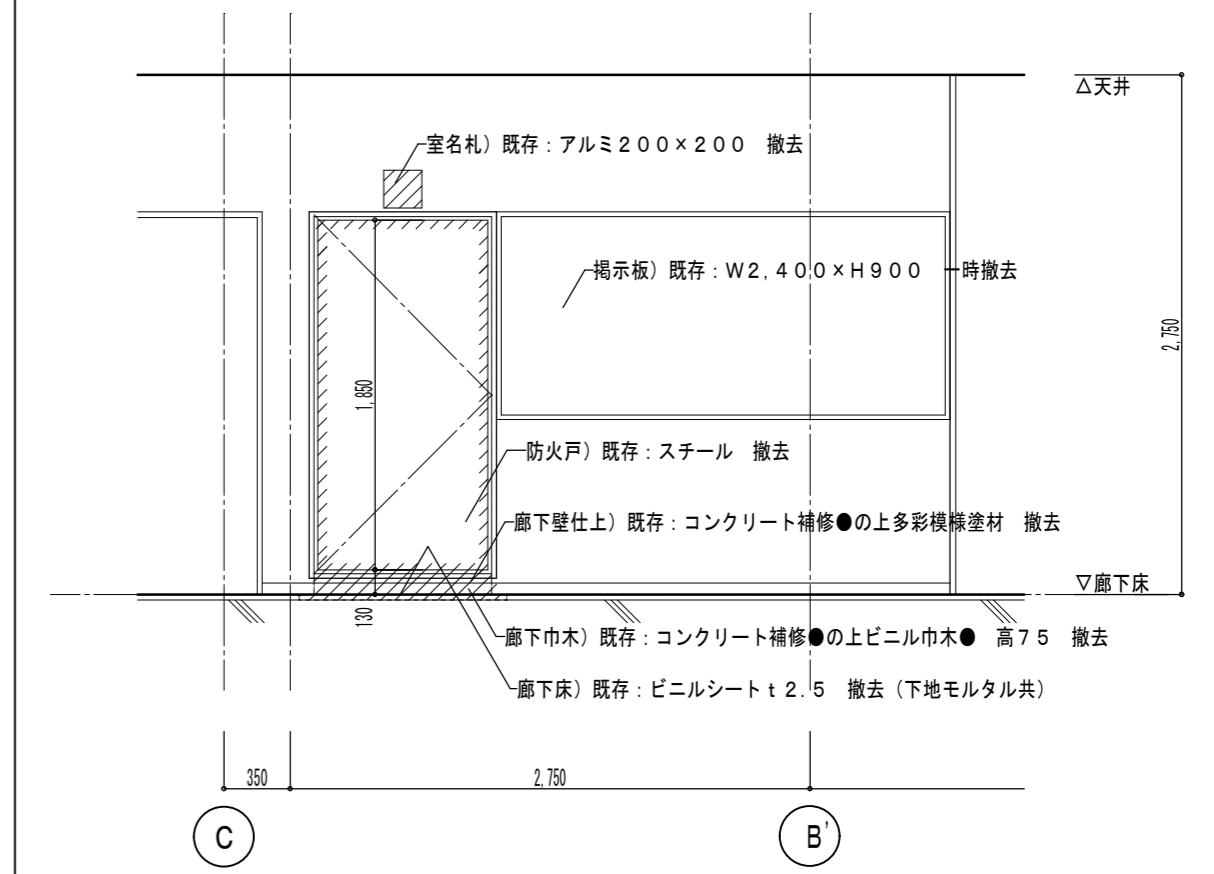
特記事項	は、撤去範囲を示す。	月日 年	回数	訂正事項	竣工図	確認者	管理者	1級建築士 前田 勝之 大田登録第81225号	E-mail office@mai-aroh-eng.co.jp E-mail	図面番号	A-6	工事名称	川越中央消防署エレベーター改修工事
							総括設計者					図面名称	1階 更衣室 平面詳細図・天井伏図等
							承認	前田	主任	担当	栗田	制作日	2026. 2. 27.
												Scale	A2 1:40
												株式会社	舞総合設計
												TEL	049-226-0404
												TEL	049-223-1001
												http://www.mai-aroh-eng.co.jp	



1階 EV機械室 既存展開図 1:50



1階 更衣室 改修展開図 1:50

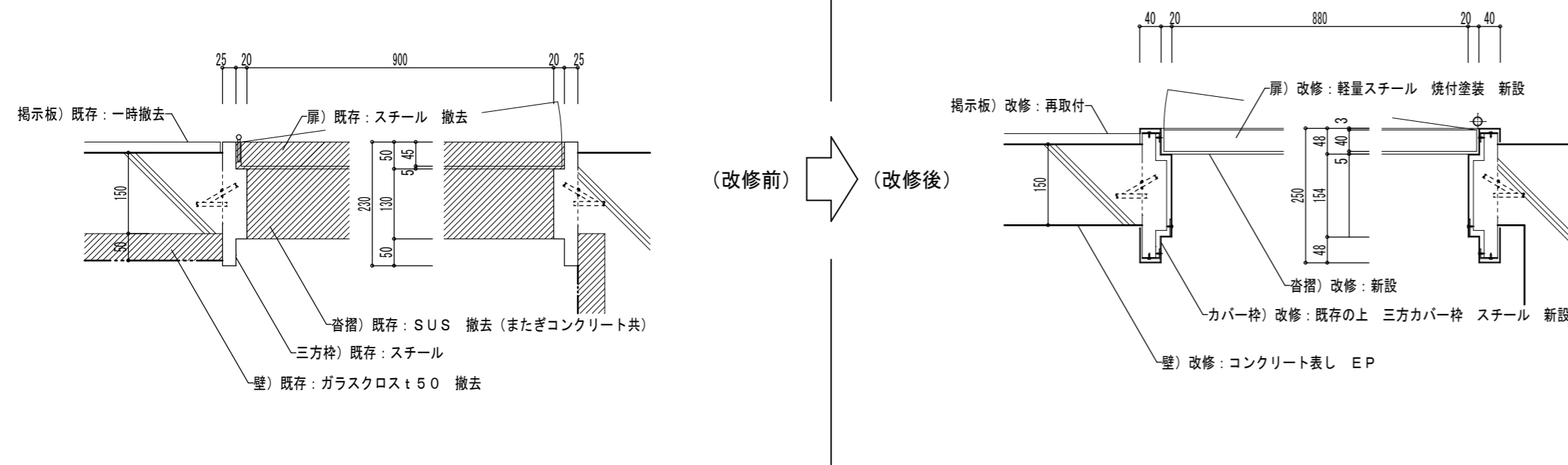


仕様: マグネットシート (UVラミネート加工)
サイズ: W160xH40 程度
デザイン: 監督員の承諾を得ること (上図は参考)
取付場所: 扉の廊下側

特記事項 ・ 斜線は、撤去範囲を示す。 ・ 図中●印は、アスベスト含有建材を示す。	年月日	回数	訂正事項	竣工図 確認者	管理者 1級建築士 前田 勝之 大田登録第 81225号	E-mail office@mai-arch-eng.co.jp	図面番号 A-7	工事名称 川越中央消防署エレベーター改修工事
					総括設計者	E-mail	制作日 2026. 2. 27.	図面名称 1階 更衣室・廊下側 展開図
					承認 前田	主任 栗田	担当 栗田	株式会社 舞総合設計 WJ Architects & Engineers
							Scale A2 1:50	Fax 049-226-0404 Tel 049-223-1001 http://www.mai-arch.co.jp

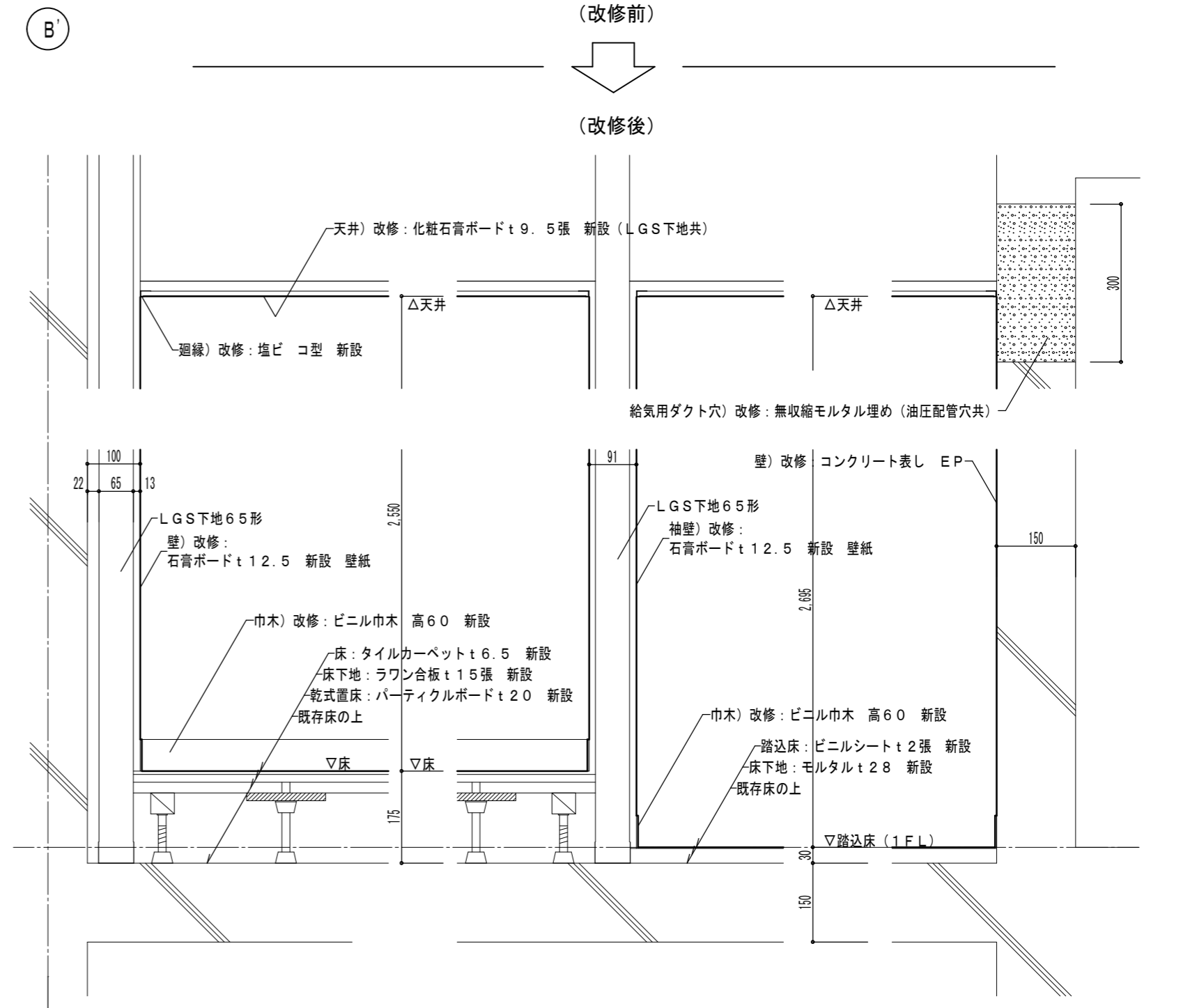
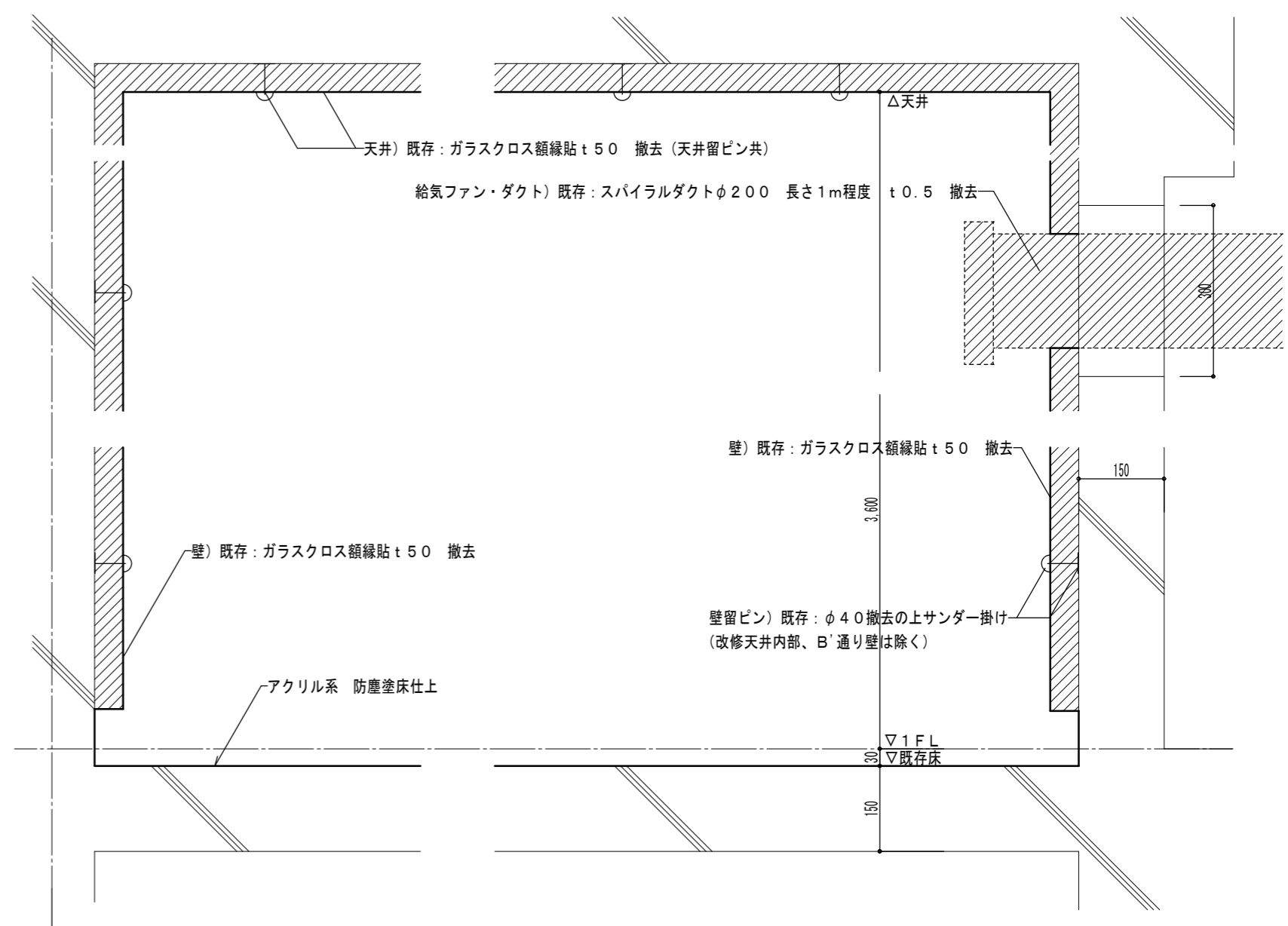
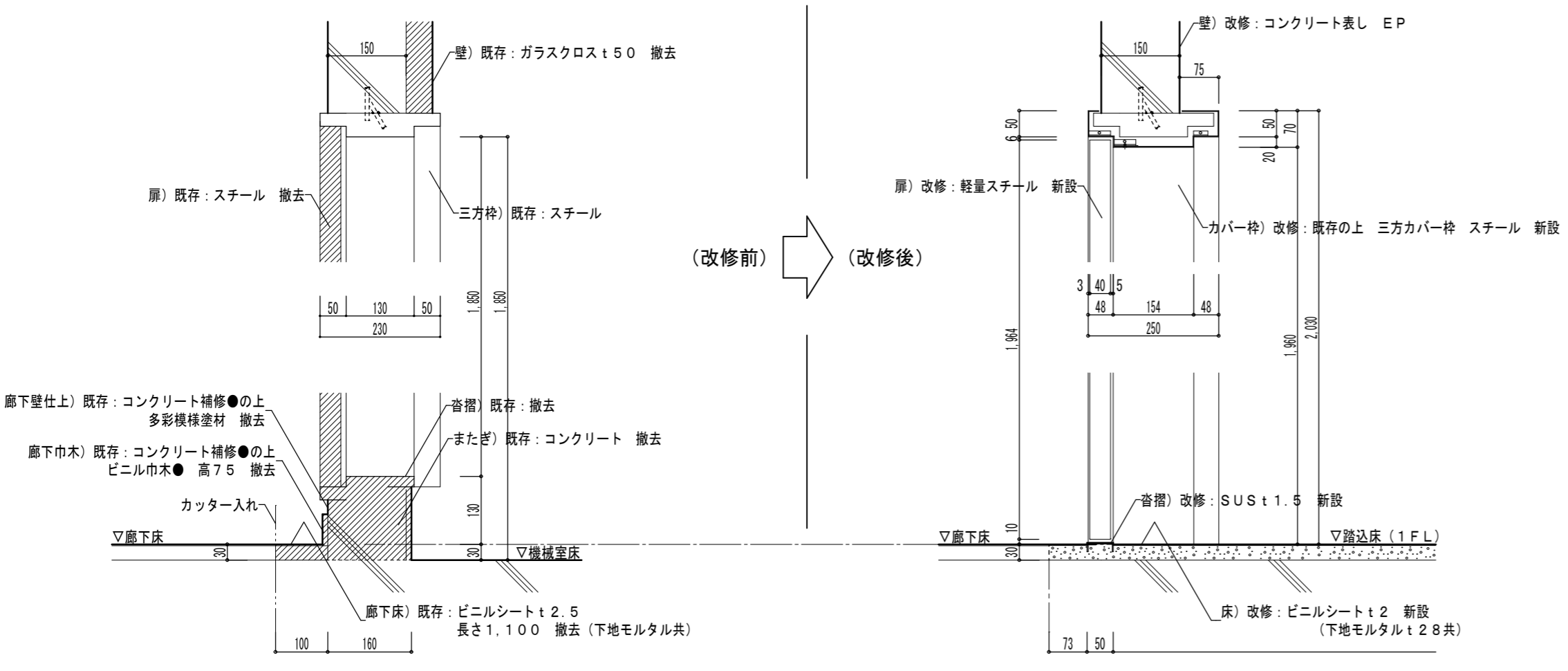
扉 平面詳細図

S : 1 / 10



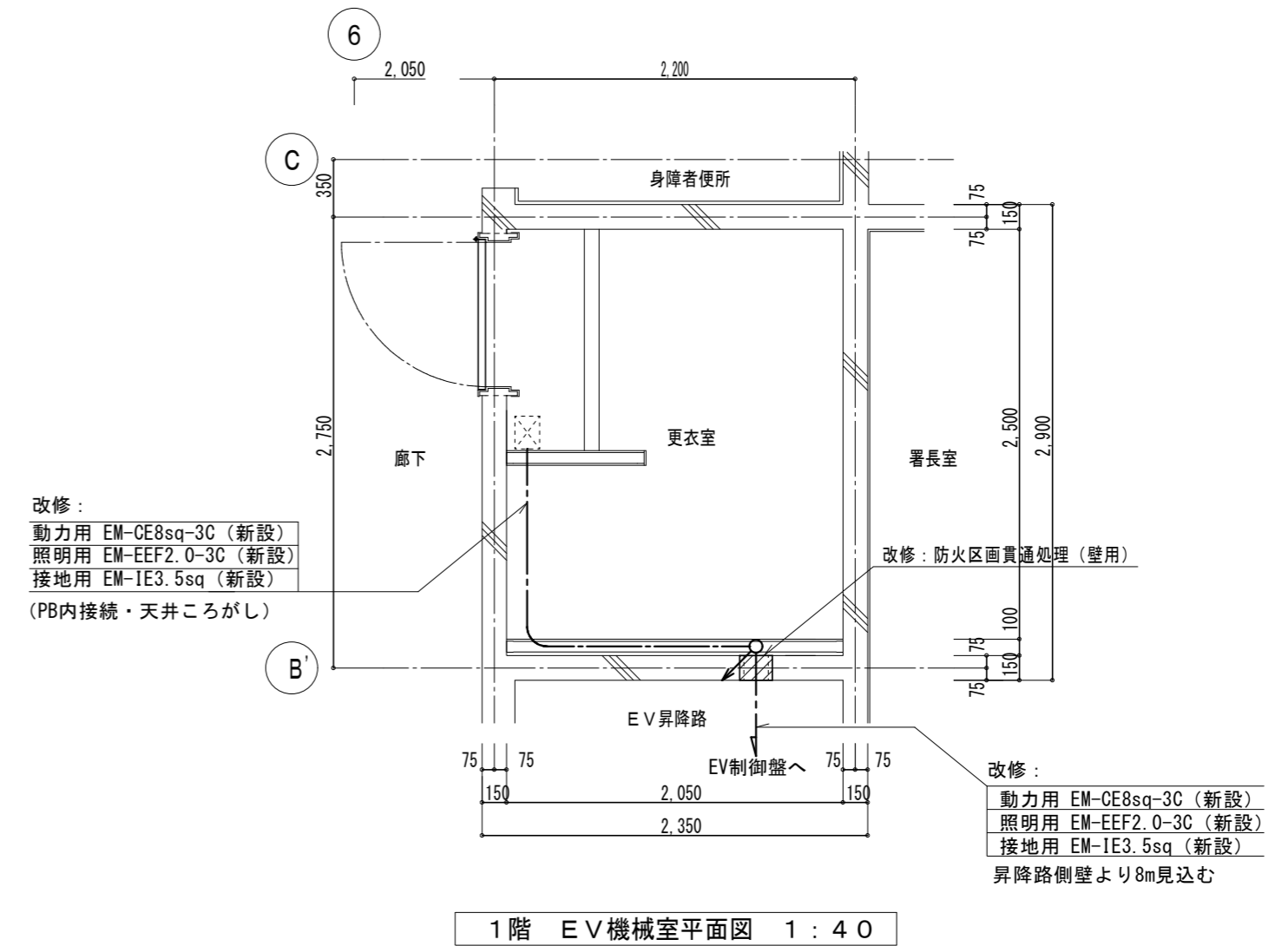
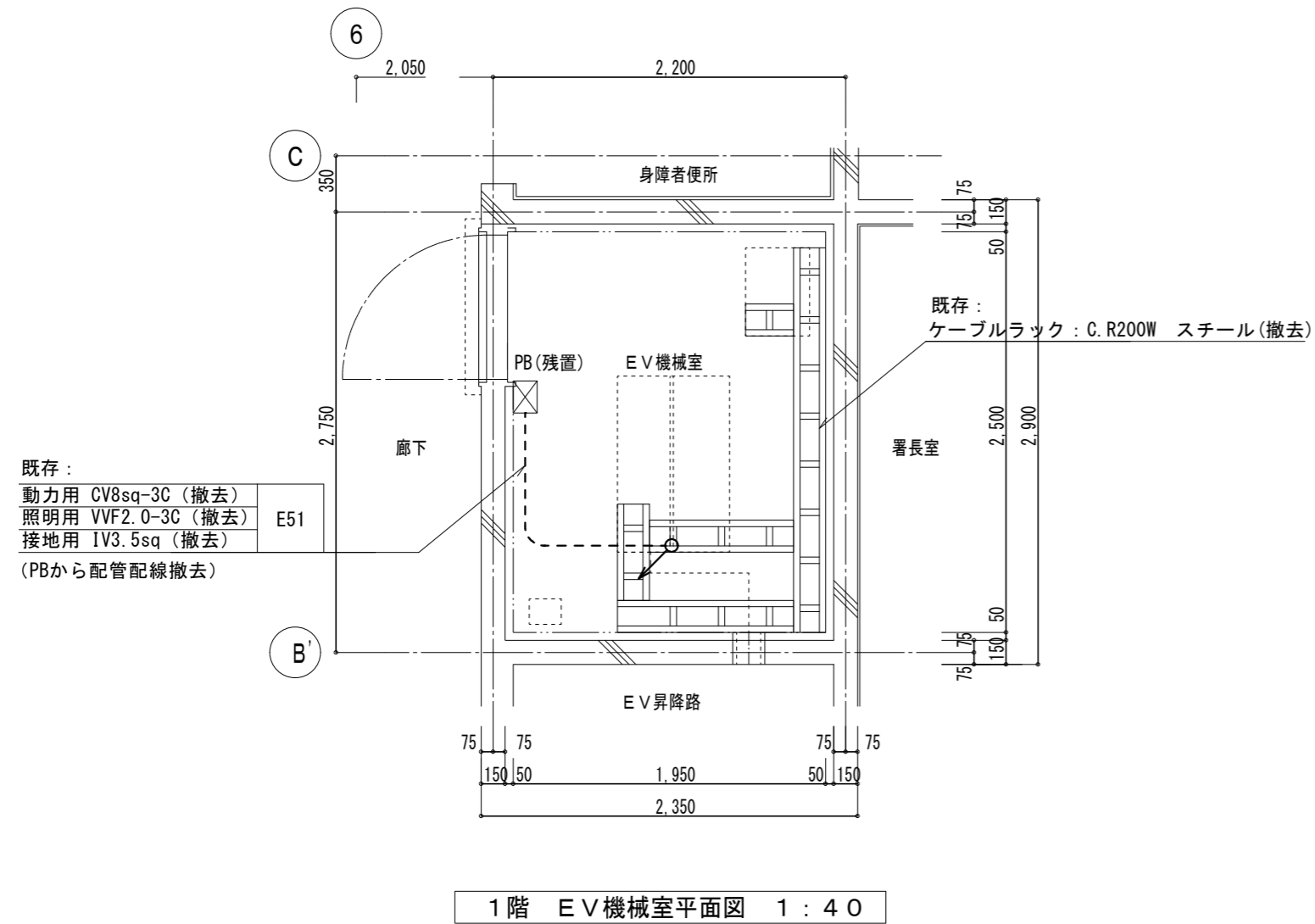
扉 断面詳細図

S : 1 / 10



床・壁 断面詳細図 1 : 10

<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> は、撤去範囲を示す。 図中●印は、アスベスト含有建材を示す。 給気用ダクト穴・油圧配管穴のコンクリート強度は、$F_c = 18 \text{ N/mm}^2$、$S_L 18 \text{ cm}$とし、温度による強度補正はなしとする。 	<p>月日年 回数</p>	<p>訂正事項</p>	<p>竣工図 確認者</p>	<p>管理者 1級建築士 前田 勝之 大臣登録第 81225号</p>	<p>E-mail office@mai-aroh-eng.co.jp</p>	<p>図面番号 A-8</p>	<p>工事名称 川越中央消防署エレベーター改修工事</p>	
	<p>承認 前田</p>	<p>主任</p>	<p>担当 栗田</p>	<p>制作日 2026. 2. 27.</p>	<p>Scale A2 1:40</p>	<p>図面名称 雑詳細図</p>	<p>株式会社 舞総合設計 NI Architects & Engineers</p>	<p>Fax 049-226-0404 Tel 049-223-1001 http://www.mai-aroh-eng.co.jp</p>
	<p>舞総合設計 NI Architects & Engineers</p>							



(改修前) → (改修後)

凡例

記号	名称	備考
	ケーブルラック	(撤去)

(注記)

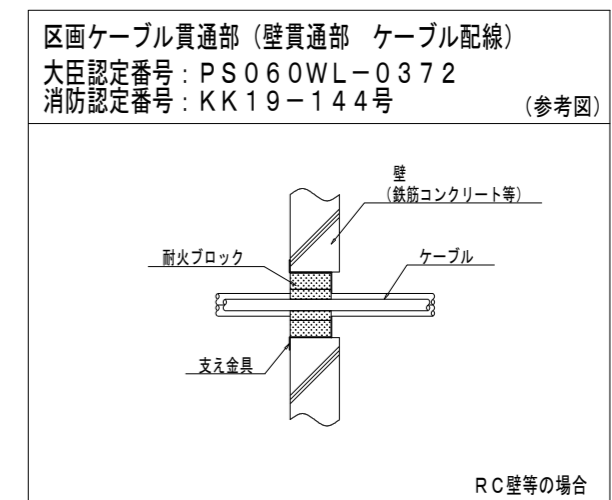
- ・機器及び配管配線は施工前調査を行い、現地を優先とする。
- ・ケーブルは下記とする。
 ———— ケーブル
 - - - - - 配管・ケーブル

凡例

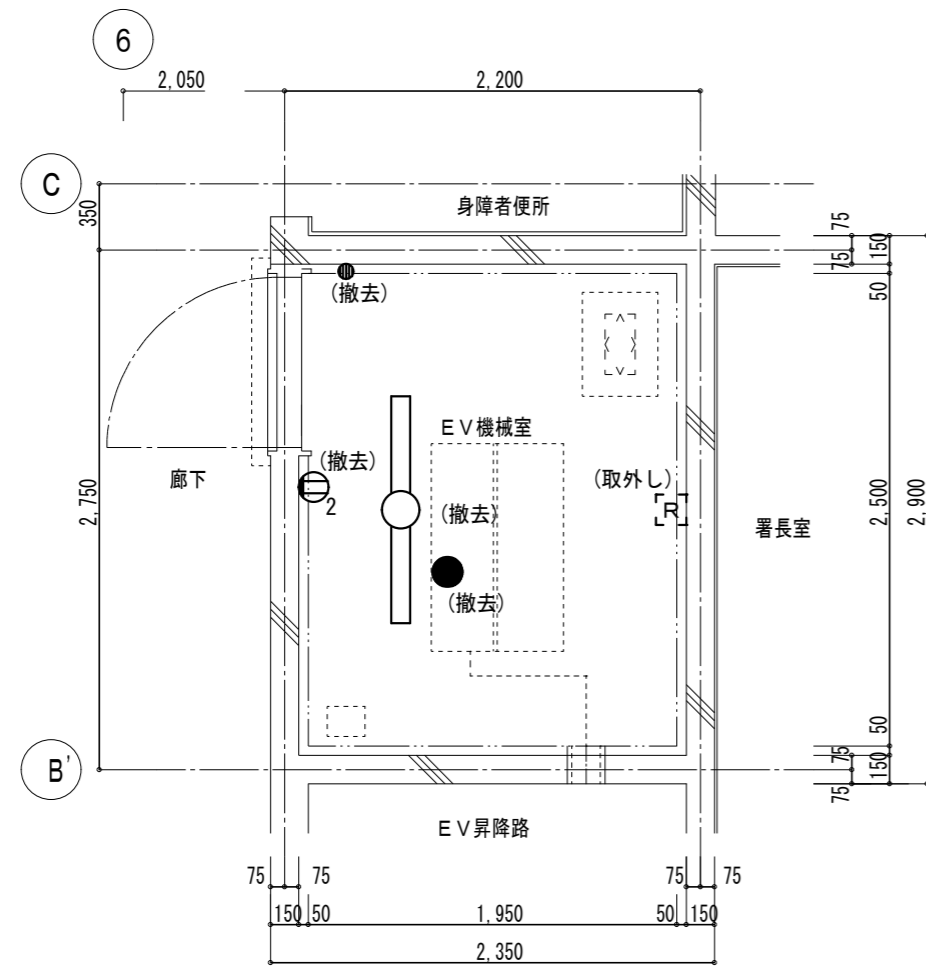
記号	名称	備考
	防火区画処理	

(注記)

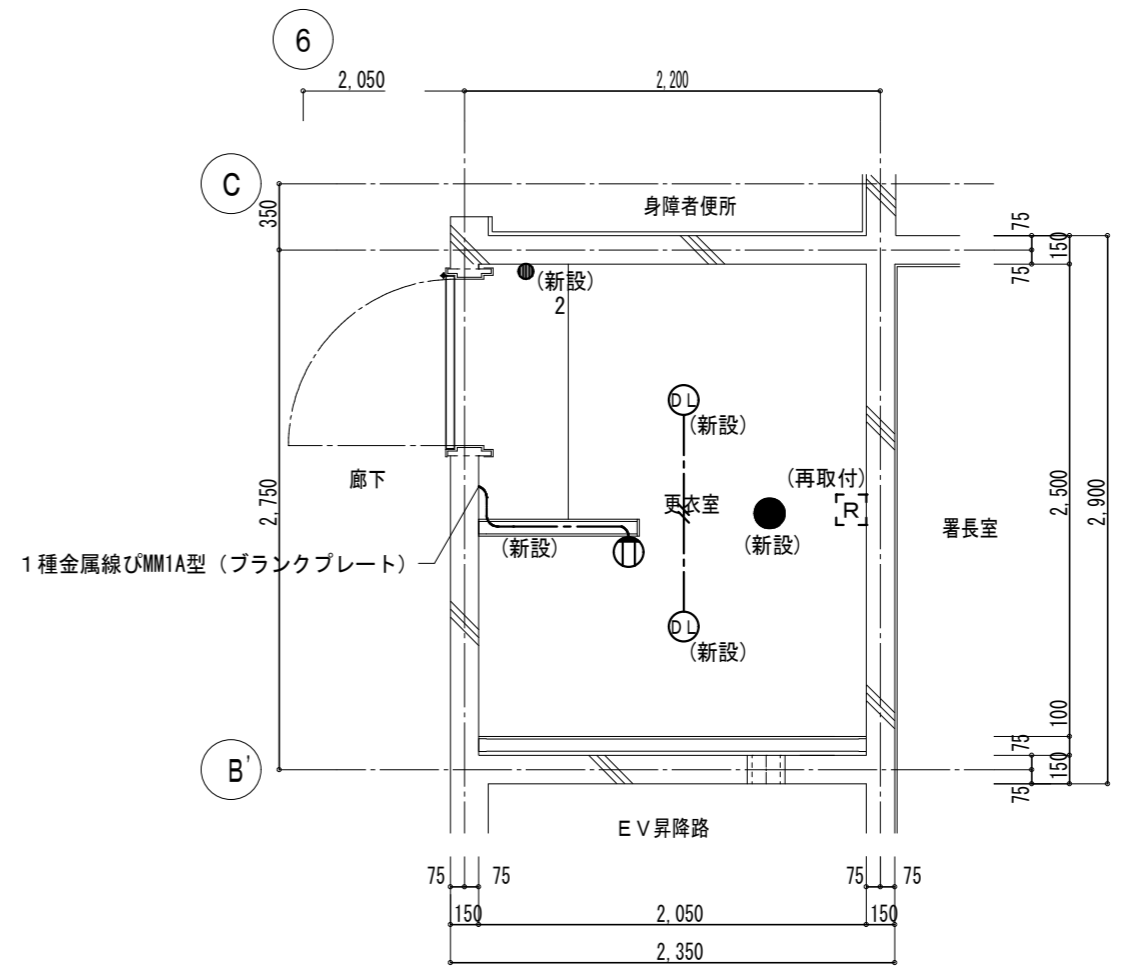
- ・貫通処理は国土交通省大臣認定工法などによる防火区画貫通処理を行うこと



特記事項	月日	年	回数	訂正事項	竣工図 確認者	管理者	1級建築士 前田 勝之	E-mail	office@mai-arch-eng.co.jp	図面番号	E-2	工事名称	川越中央消防署エレベーター改修工事		
						総括設計者		E-mail		承認		主任	担当	制作日	2. 27. 2026
						前田						株式会社	Fax	049-226-0404	
												舞総合設計	Tel	049-223-1001	
												MAI Architects & Engineers	http://www.mai-arch-eng.co.jp		



1階 EV機械室平面図 1:40



1階 EV機械室平面図 1:40

(改修前) → (改修後)

凡例

記号	名称	備考
○	照明器具 FL40w-1	(撤去)
●	非常照明 13w	(撤去)
●	片切スイッチ	(撤去)
⊖	埋込コンセント	(撤去)
[R]	換気スイッチ	(取外し)

- (注記)
- ・機器及び配管配線は施工前調査を行い、現地を優先とする。
 - ・照明器具撤去リスト
 1. 逆富士型 FL40Wx1灯 露出 1台
 2. 非常照明 13W 露出 1台

凡例

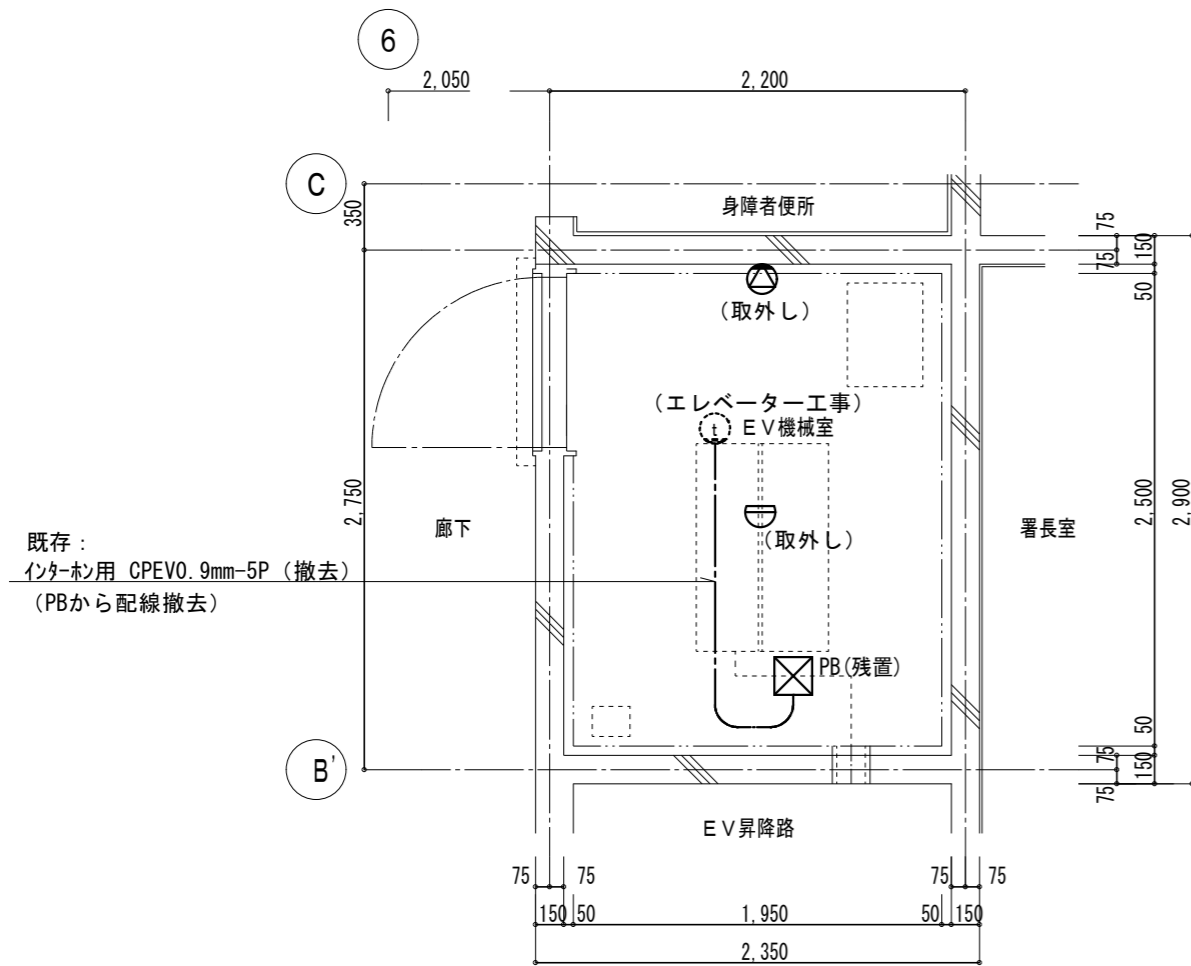
記号	名称	備考
⊙	ダウンライト	(新設)
●	非常照明	(新設)
●	片切スイッチ	(新設)
⊖	埋込コンセント	(新設)
[R]	換気スイッチ	(再取付)

- (注記)
- EM-EEF1.6mm-2C
 - EM-EEF2.0mm-2C
 - ※天井裏はころがしとする

照明器具姿図

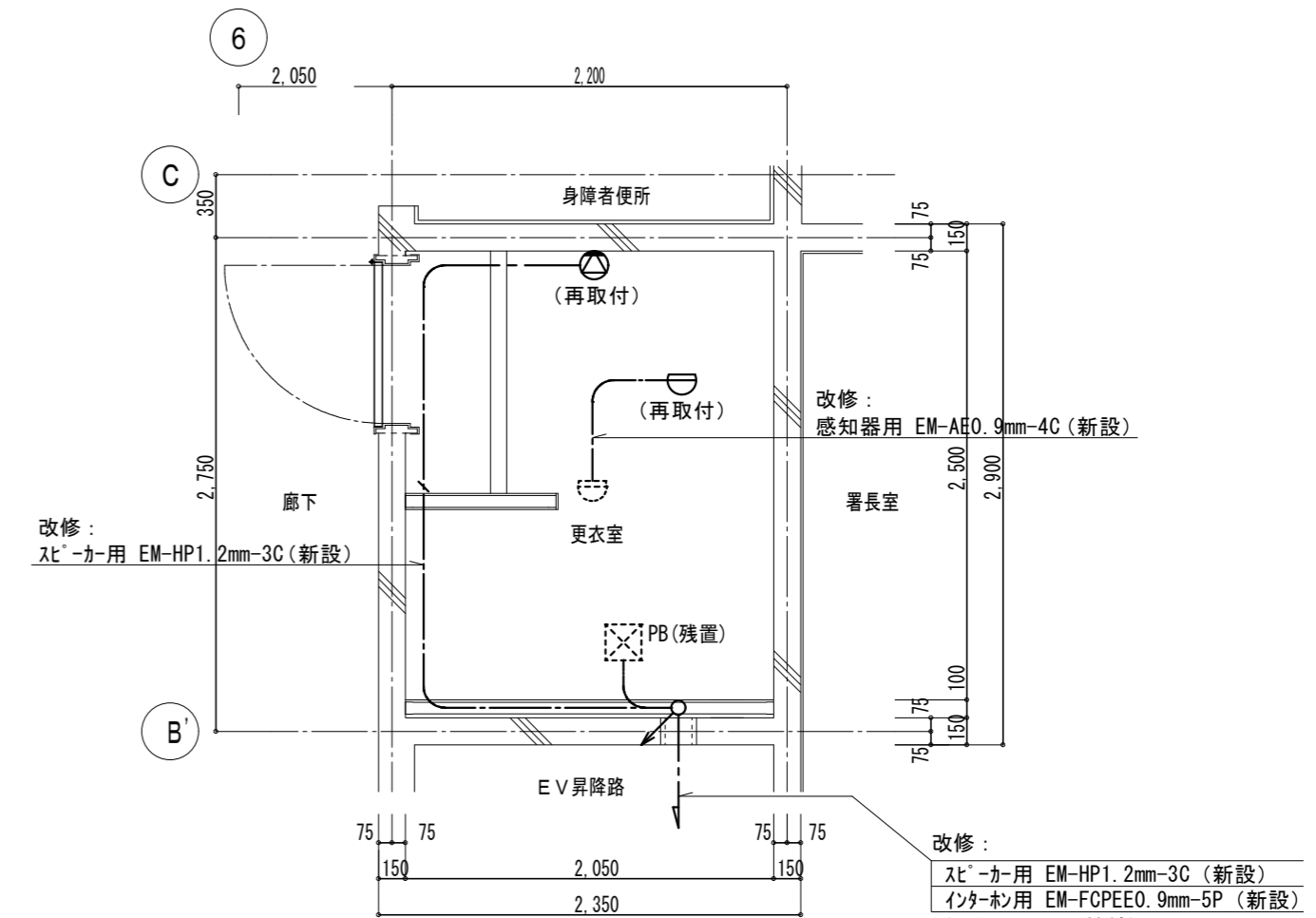
1	ダウンライト 100形	2	LED非常灯専用型リコン自己点検機能
	台数 2台		台数 1台
公共施設型番 LRS14-08-40K		公共施設型番 K1-LRS11-2	

特記事項	月日年	回数	訂正事項	竣工図	管理者	1級建築士 前田 勝之 大臣登録第 81225号	E-mail office@mai-arch-eng.co.jp	図面番号	E-3	工事名称	川越中央消防署エレベーター改修工事	
				確認者	総括設計者		E-mail	図面名称		1階 電灯・コンセント設備平面図 (改修前・後)		
						承認	主任	担当		制作日	2. 27. 2026	株式会社
						前田		栗田		Scale	A2 1:40	舞総合設計 MAI Architects & Engineers http://www.mai-arch-eng.co.jp
										Fax	049-226-0404	
										Tel	049-223-1001	



1階 EV機械室平面図 1:40

既存：
インターホン CPEVO.9mm-5P (撤去)
(PBから配線撤去)



1階 EV機械室平面図 1:40

改修：
スピーカー用 EM-HP1.2mm-3C (新設)

改修：
感知器用 EM-AE0.9mm-4C (新設)

改修：
スピーカー用 EM-HP1.2mm-3C (新設)
インターホン EM-FCPEE0.9mm-5P (新設)
(インターホンPB内接続)
昇降路側壁より8m見込む

(改修前) → (改修後)

凡例

記号	名称	備考
⊗	スピーカー (壁付)	(取外し)
☹	光電式煙感知器	(取外し)
Ⓛ	インターホン	(エレベーター工事)

(注記)
・機器及び配管配線は施工前調査を行い、現地を優先とする。

凡例

記号	名称	備考
⊗	スピーカー (壁付)	(再取付)
☹	光電式煙感知器	(再取付)
Ⓛ	インターホン	(エレベーター工事)

(注記)
 - - - - - EM-HP1.2mm-3C スピーカー用
 - - - - - EM-AE0.9-4C 感知器用
 ※天井裏はころがしとする

特記事項	月日年	回数	訂正事項	竣工図	管理者	1級建築士 前田 勝之 大臣登録第 81225号	E-mail office@mai-arch-eng.co.jp	図面番号	E-4	工事名称	川越中央消防署エレベーター改修工事
				確認者	総括設計者		E-mail			図面名称	1階 弱電設備平面図 (改修前・後)
						承認	主任	担当	制作日	2. 27. 2026	株式会社
						前田		栗田	Scale	A2 1:40	舞総合設計 MAI Architects & Engineers http://www.mai-arch-eng.co.jp
										Fax	049-226-0404
										Tel	049-223-1001

動力電源設備（絶縁トランス適用時、CVT電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値(*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ200V 50Hz	3.8kW	4kVA	40A以上	100mA以上 0.2秒以上	70mまで 8mm ² 121mまで 14mm ² 185mまで 22mm ²	3.5mm ²

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

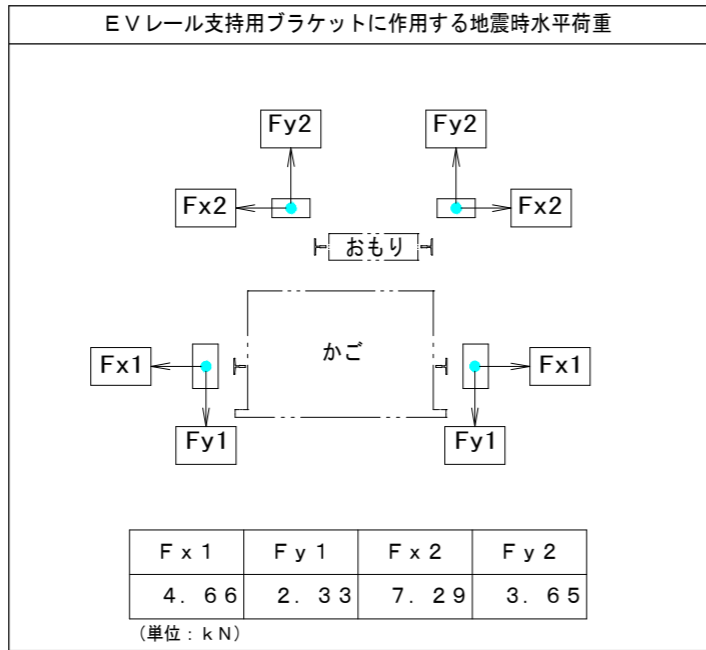
(電気工事)

電線引込口（既設流用；防火区画貫通処理）（既設機械室までの既設線流用）
電線引出し長さ 昇降路側新規電線引込口から+8000mm

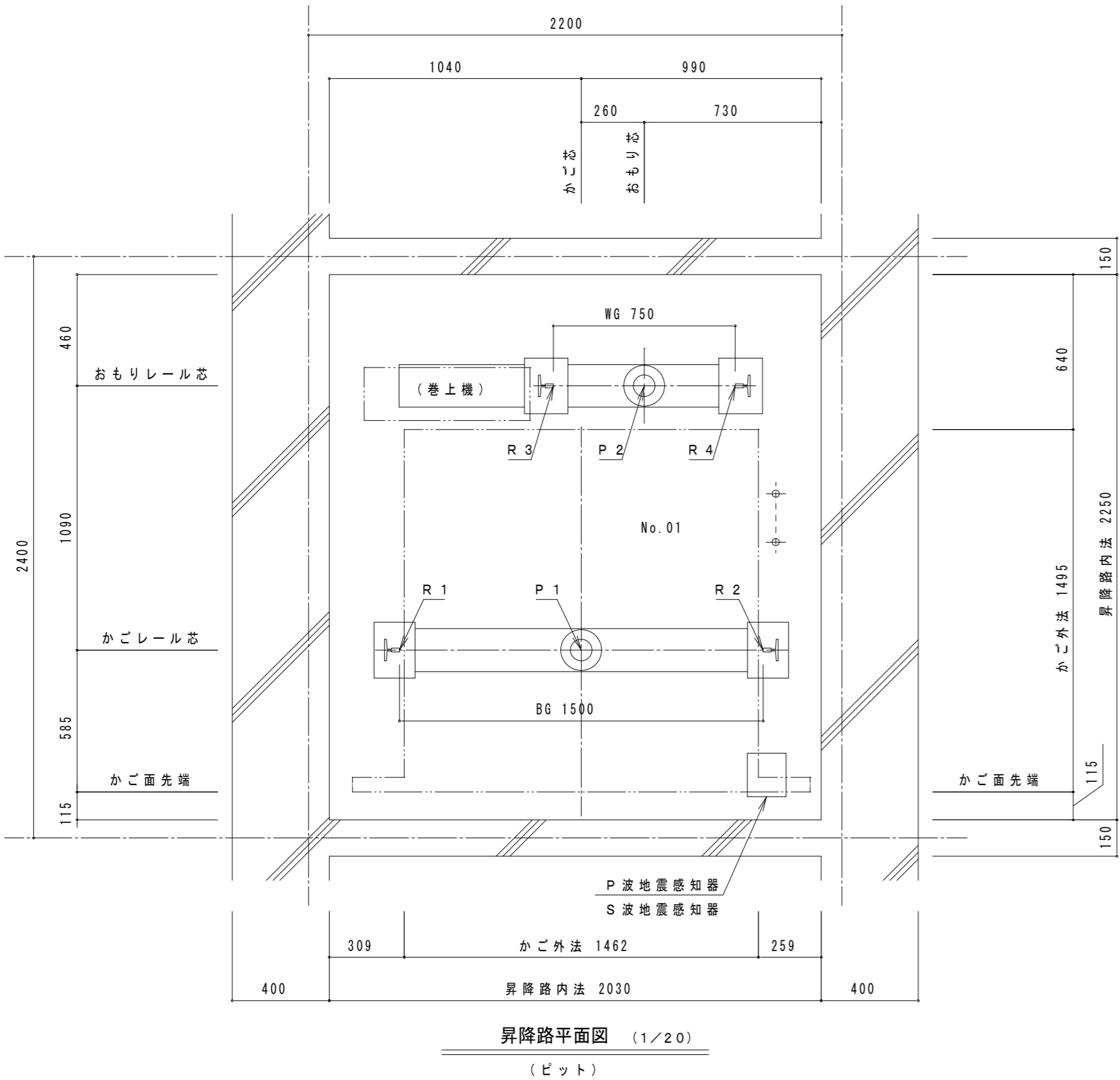
- 制御盤までの引込み、つなぎ込み工事
- 動力用AC3φ-200V-50Hz
- 照明用AC1φ-100V-50Hz
- D種接地工事
- 外部インターホン用配管配線・・・CPEVO.9mm×5P
- かご室スピーカー用（放送用）配管配線・・・HP1.2mm×3C

レール下端部荷重（長期荷重）			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
21.6	21.2	39.8	17.7

ピット荷重（短期荷重）	
P1 (kN)	P2 (kN)
71.4	55.7



注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



付帯工事項

建築工事関係

- 機械室、昇降路機器撤去に伴う躯体ハツリ工事
(埋設物が残置されても新規エレベーター据付に支障がない場合は、当該埋設物の撤去を除外する。
旧エレベーター機器撤去にあたっては、切断処理および必要に応じた一部躯体補修で対応することも可とする。)
- 乗場インジケータ、乗場ボタン等の穴あけ工事
- 機械室、昇降路機器撤去後の躯体補修工事
(油圧配管塞ぎ工事含む)
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事
(繋ぎ込み工事含む)
- インターホン取付位置より既設機械室までの配管配線は流用とし、既設機械室から昇降路までは新規配線とする。
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
(非常放送がある場合3線式とすること)

注意事項

- コンクリート強度は21N/mm²以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
(1) 昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
(2) 金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
(1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
(2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
(3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。
(建築基準法施行令第129条の10第3項第三号)
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

エレベーター仕様要項

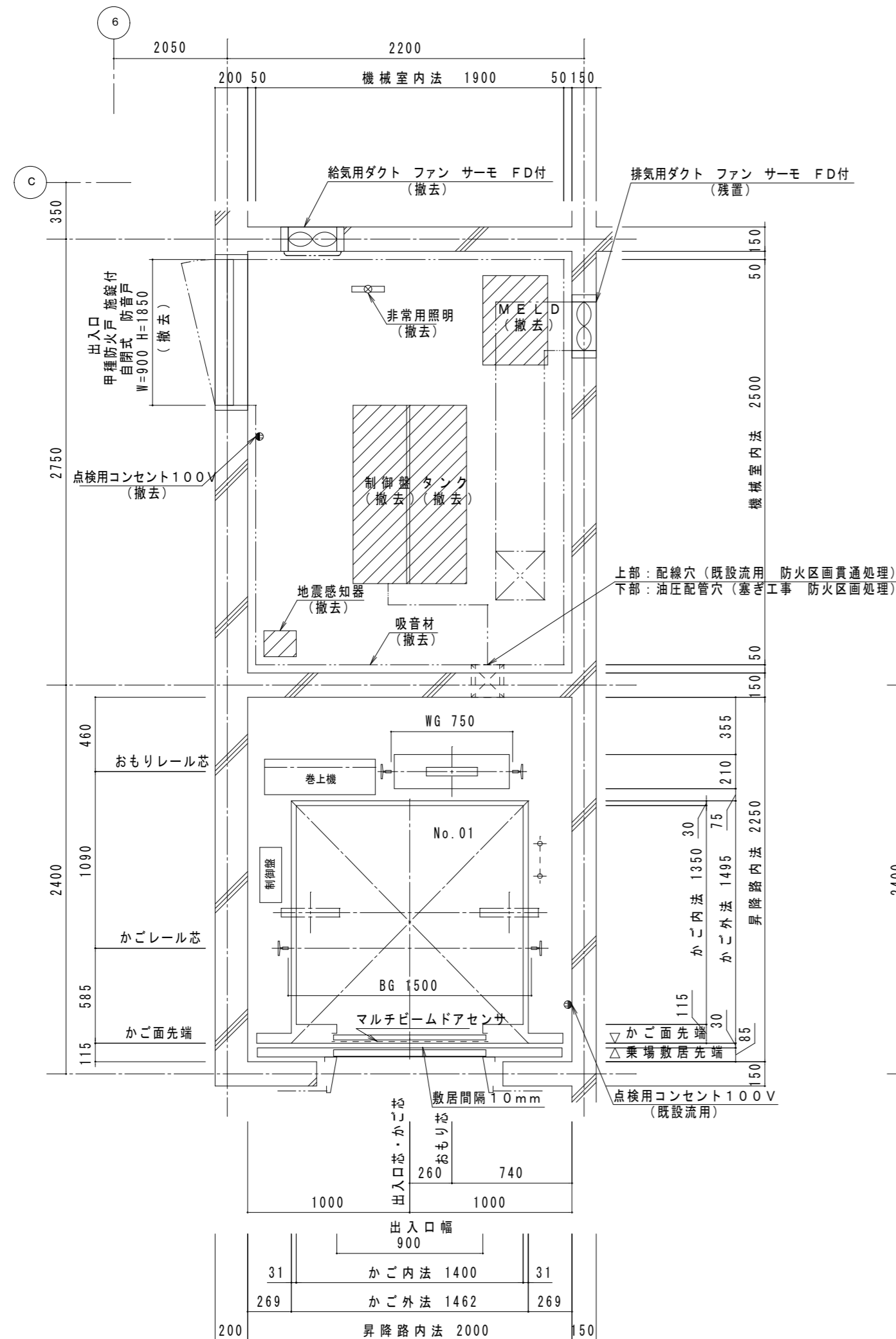
分類	仕様項目	O1号機
基本仕様	機種名称	三菱機械室レスエレベーター
	用途	乗用（車いす用兼用）
	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（再生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載荷重	750kg・最大定員11名
	定格速度	45m/min
	動力用電源	AC-3φ200V50Hz
	照明用電源	AC-1φ100V50Hz
	巻上機・電動機	PMF011S-J形・3.8kW
	ツナ車	(径)410mm
ロープ	(径)10mm×3本・2:1ローピング	
停止箇所	1-3階 計3箇所	
レール	かご側 T89/B おもり側 T89/B	
かご内法	間口 1400mm×奥行 1350mm×高さ 2280mm	
出入口	幅 900mm×高さ 2100mm	
戸閉方式	電動式二枚両引き	
その他仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	戸開走行保護装置	あり
	敷居間隔	10mm
	車いす仕様	あり
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置（MELD）	あり
	かご呼び取消機能	あり
	幕板	化粧シート貼仕上（1-3階） (既設流用)
	乗場三方枠	大枠末広形 ステンレスヘアライン仕上（1-3階） (既設流用)
乗場戸	化粧シート貼仕上（1-3階）	
乗場敷居	アルミ製（1-3階） (既設流用)	
乗場インジケータ	幕板彫込型セグメントLED式（1-3階）	
乗場インジ運行表示灯1	休止表示	
乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）（1-3階）	
乗場ボタンプレート	樹脂フレーム付 ステンレスヘアライン仕上（1-3階）	
車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）（1-3階）	
車いす専用乗場ボタンプレート	樹脂フレーム付 ステンレスヘアライン仕上（1-3階）	
乗場休止スイッチ	あり（1階乗場ボタン組込）	
天井	CL1：フラット（白色LED） 天井面材：鋼板塗装仕上（メーカー標準色）	
壁	化粧鋼板	
袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	
出入口上板	化粧鋼板	
かご室戸	化粧鋼板	
巾木	アルミ製	
かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）	
かご室敷居	アルミ製	
かご操作盤タイプ	袖壁操作盤	
かご操作盤フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上	
かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）	
正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（5.7インチ）	
かご操作盤液晶インジケータ表示言語	4カ国語ガイド（通常時：日英、緊急時：日英中韓、1画面表示）	
車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン仕上	
車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	セグメントLED	
車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）	
かご室換気	ファン	
かご室手すり	丸形 ステンレスヘアライン仕上 三面取付（両側面+正面）	
かご室鏡	SUS鏡面（570mm×1400mm）	
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上（ビスなし）高さ：床面より350mm	
その他仕様	気配りドアセンサ	あり
	マルチビームドアセンサ<2D>	あり
	冠水時管制運転	あり
	インターホン	6V1局（設置場所：1階 事務室）
	かご内アナウンス	かご内4カ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご内戸開延長ボタン	あり
非常放送用かご室スピーカー	あり	

特記事項	月日年	回数	訂正事項	竣工図	管理者	1級建築士 前田 勝之 office@mai-aroh-eng.co.jp	E-mail	図面番号	M-1	工事名称 川越中央消防署エレベーター改修工事
				確認者	総括設計者	E-mail				
								承認	主任	担当
					前田			制作日	2026. 2. 27.	株式会社 舞総合設計 NI Architects & Engineers
								Scale	A2 1:20	Fax 049-226-0404 Tel 049-223-1001 http://www.mai-aroh-eng.co.jp

部材記号	名称	部材	工事区分
k	揚重ビーム (据付後残置)	H-100×100×6×8	新規取付

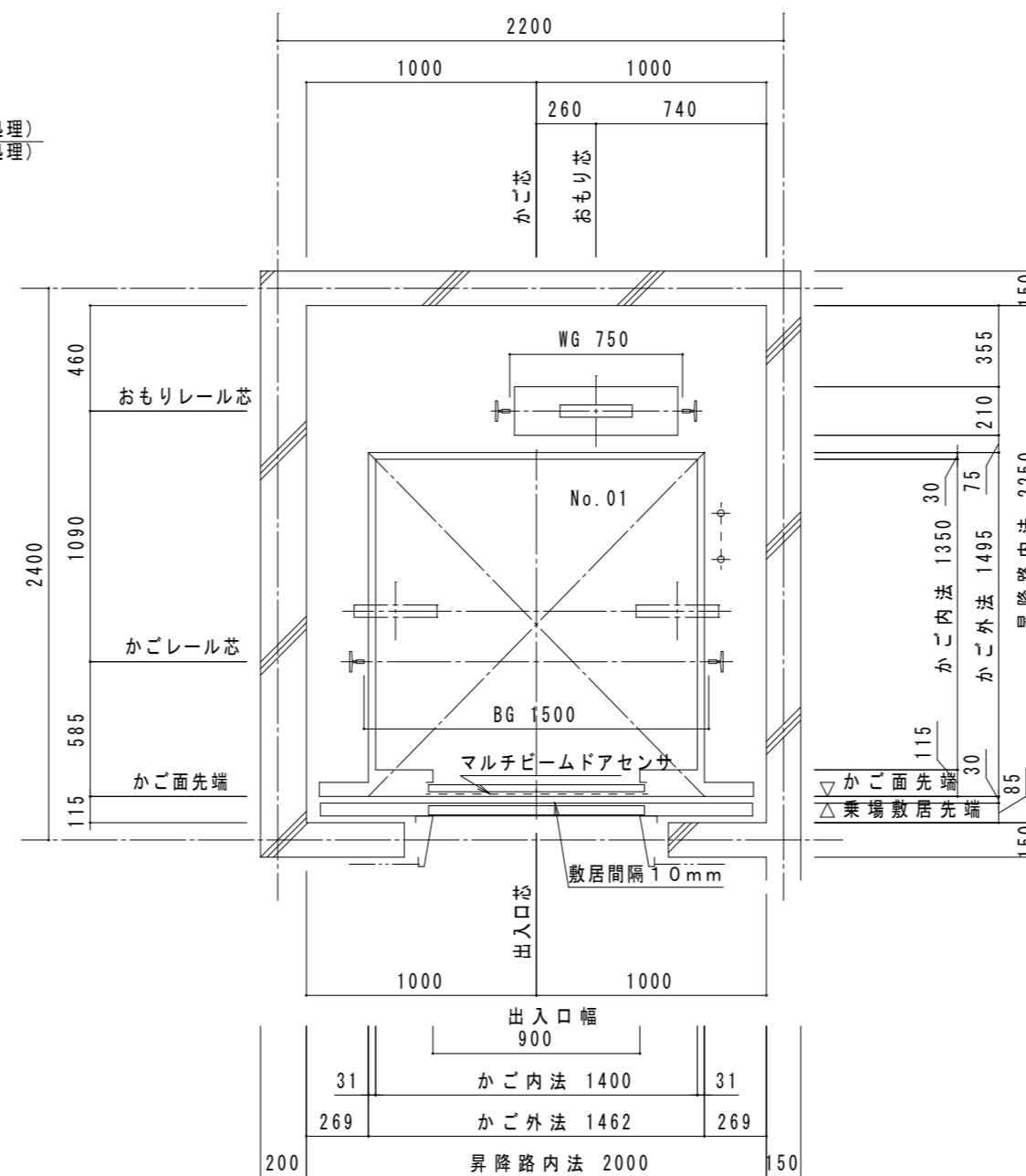
揚重ビームに掛かる荷重			
Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)
15.4	15.4	28.7	21.0

Q1～Q4はEV据付時に作用する

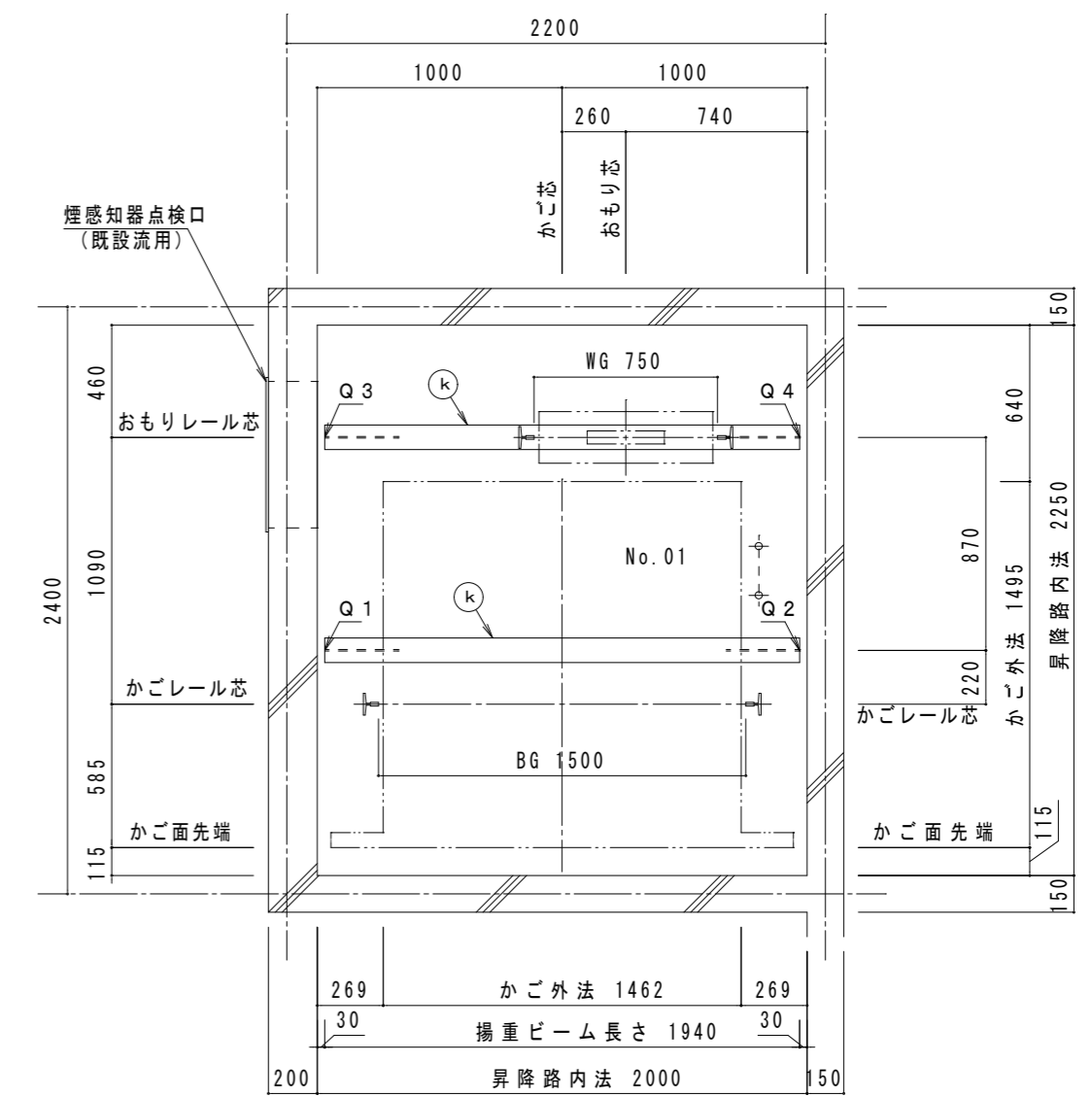


昇降路平面図 (1/30)
(1階)

撤去機器を示す



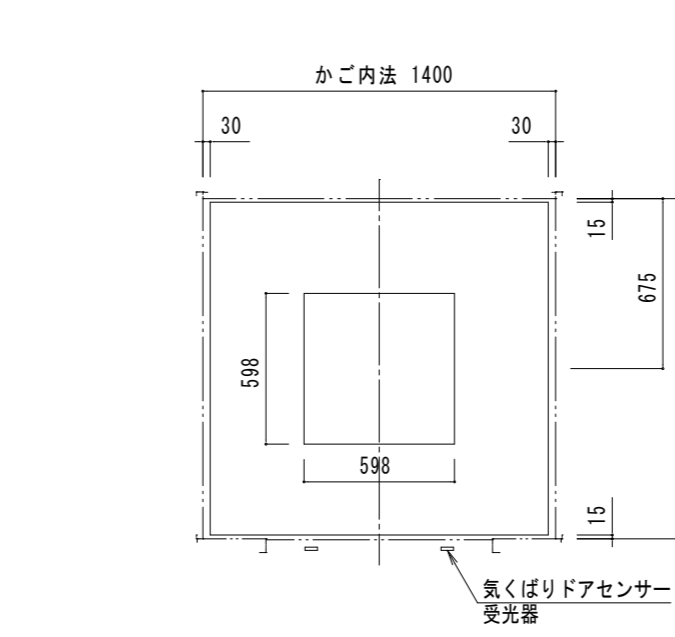
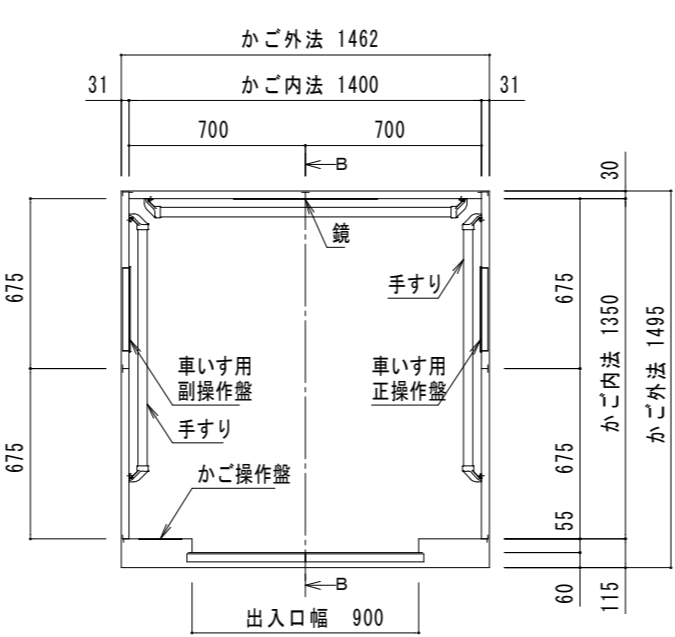
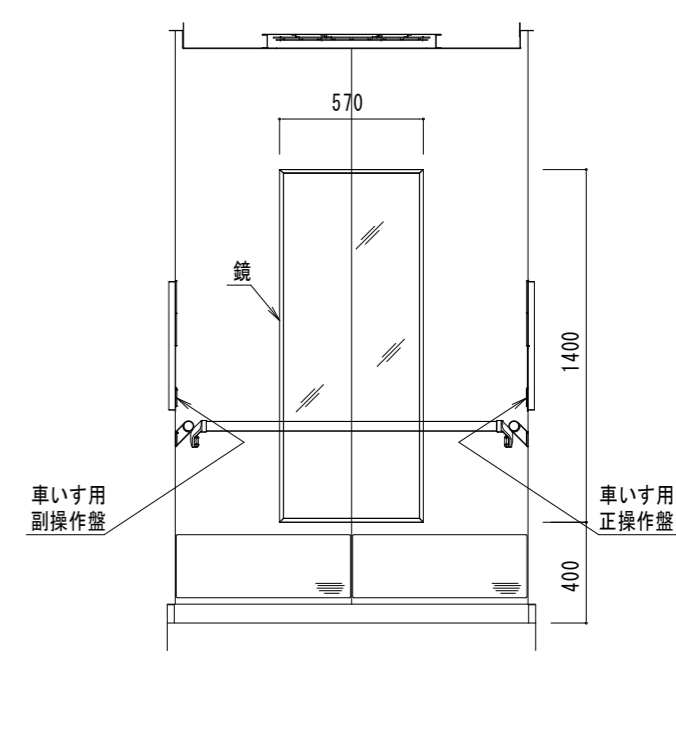
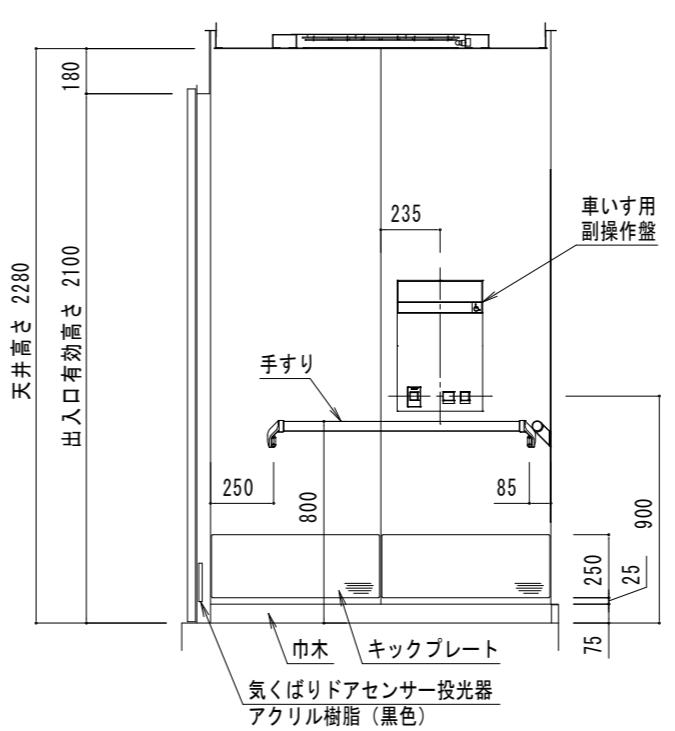
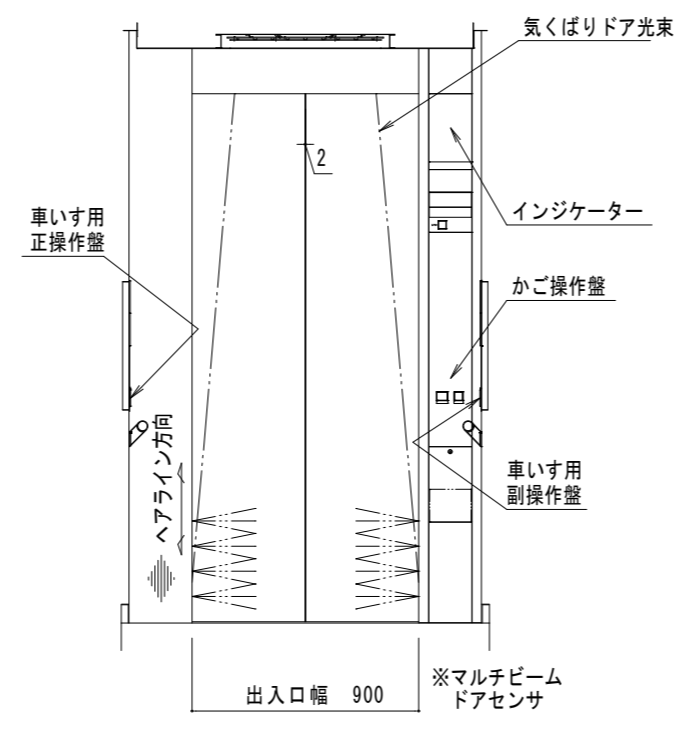
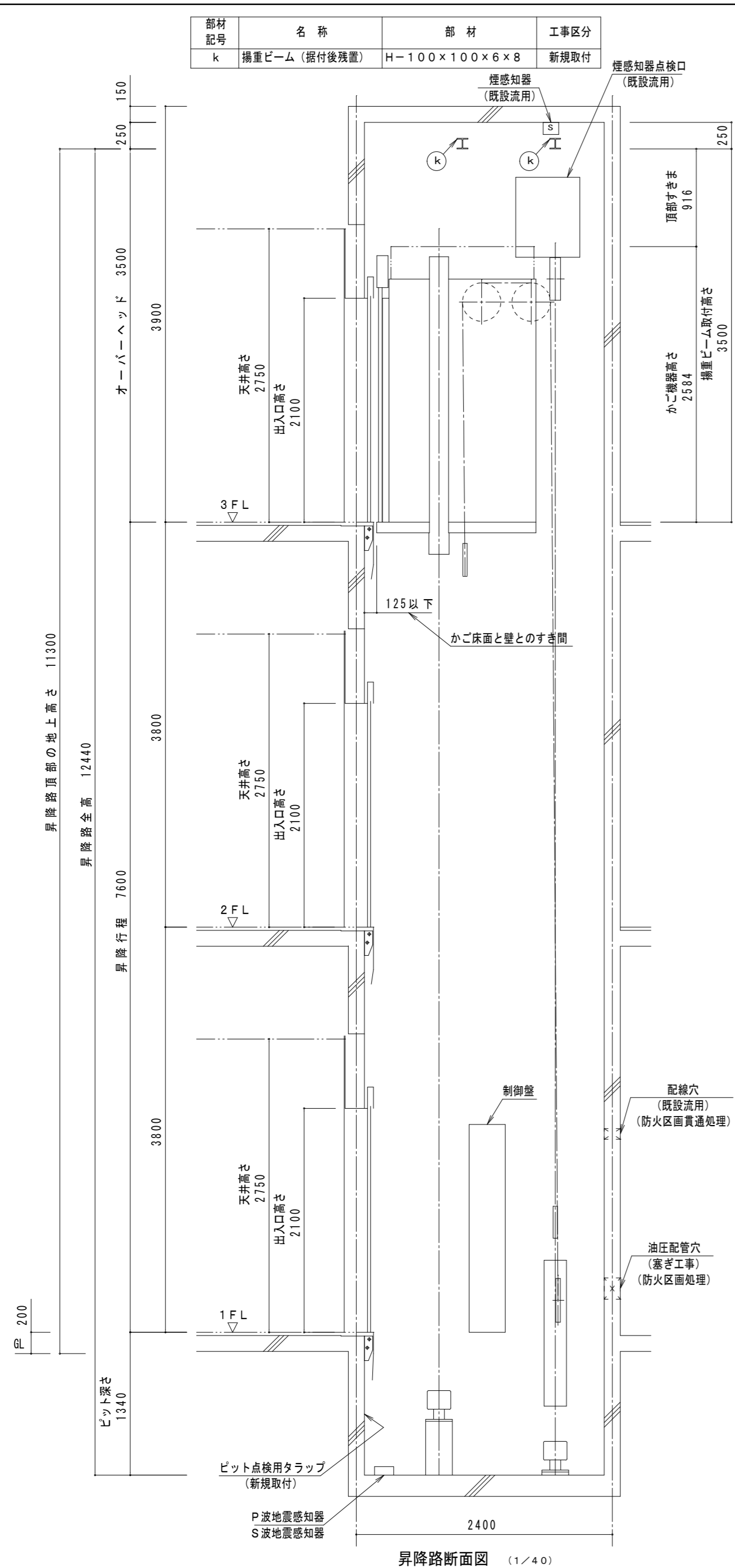
昇降路平面図 (1/30)
(2-3階)



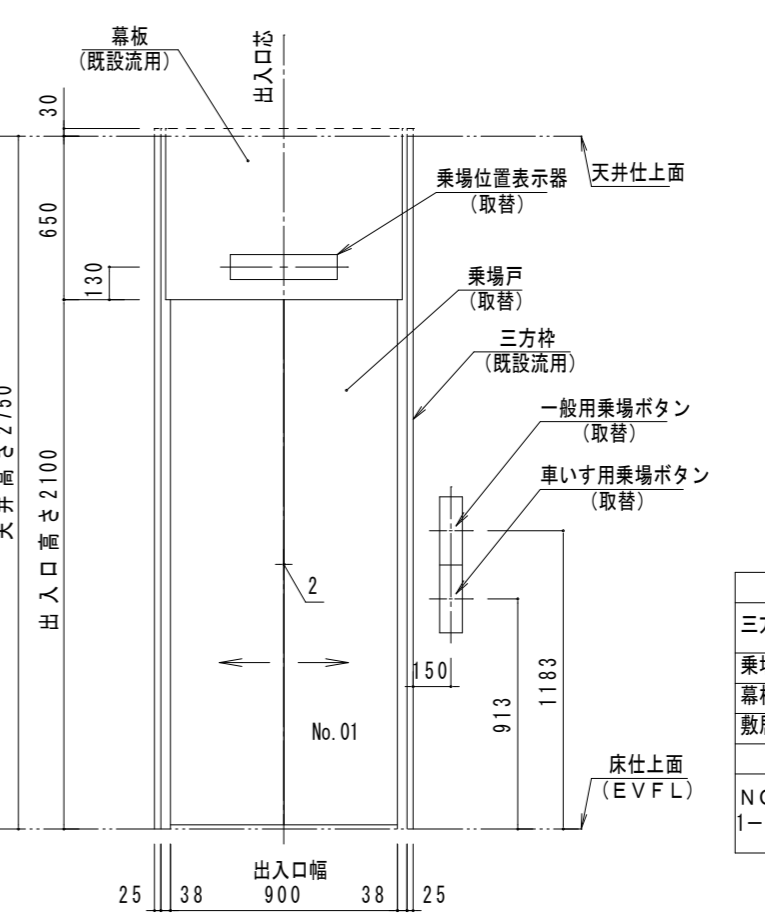
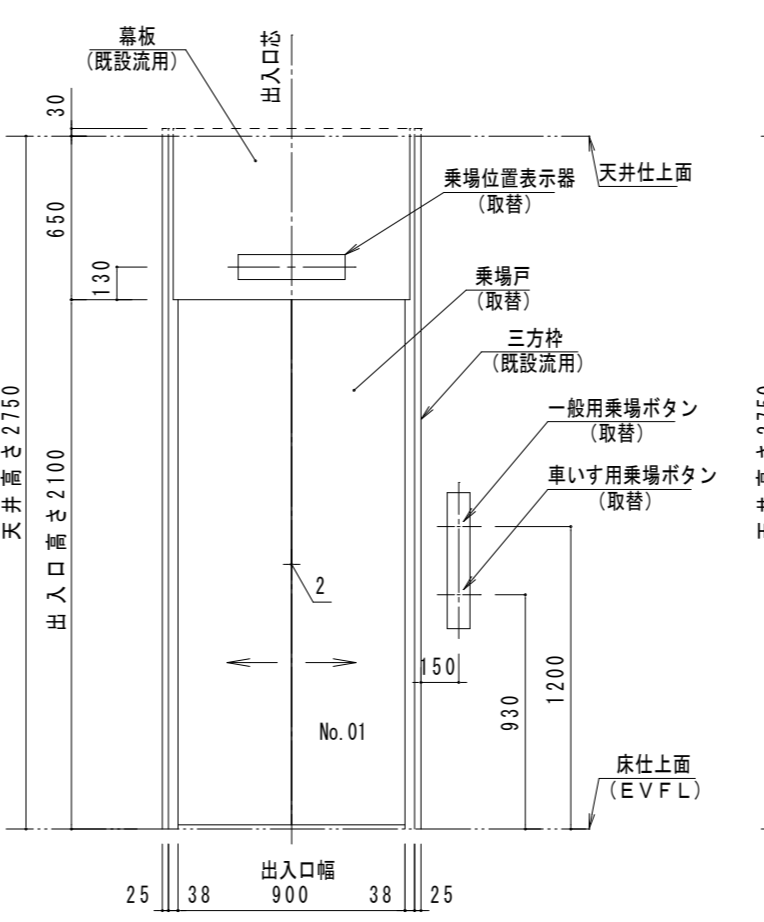
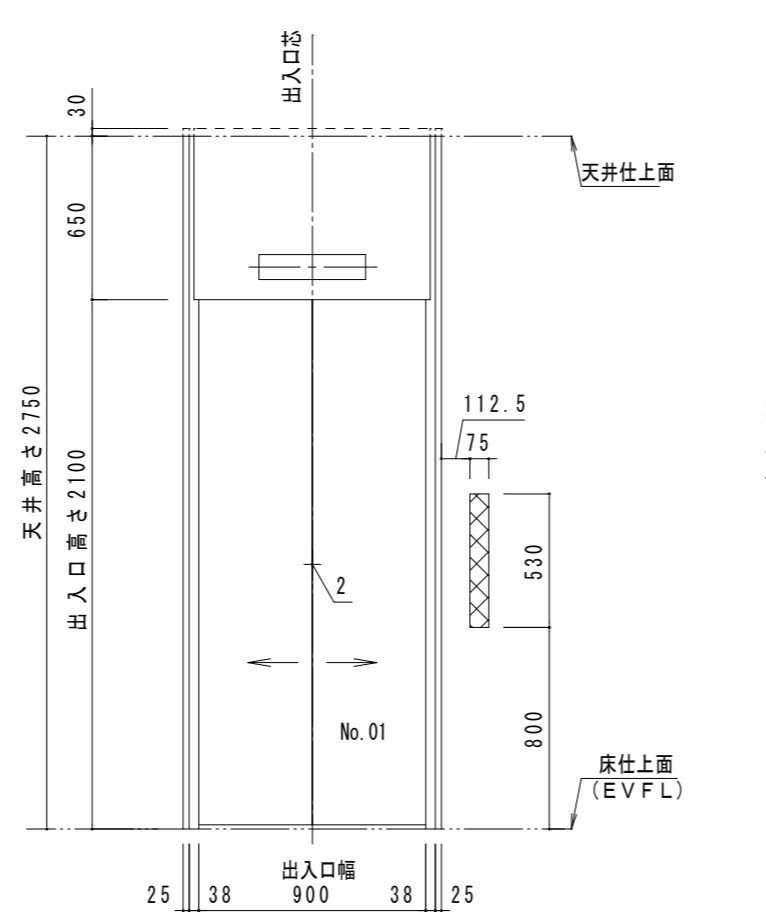
昇降路平面図 (1/30)
(頂部)

特記事項	月日	年	回数	訂正事項	竣工図 確認者	管理者				図面番号	工事名称		
						1級建築士	前田 勝之	E-mail	office@mai-arch-eng.co.jp		M-2	川越中央消防署エレベーター改修工事	
						総括設計者						図面名称	エレベーター図2
							承認	主任	担当	制作日	2026. 2. 27.	株式会社	舞総合設計
							前田		栗田	Scale	A2 1:30	舞総合設計	NI Architects & Engineers
												Fax	049-226-0404
												Tel	049-223-1001
												http://www.mai-arch-eng.co.jp	

部材記号	名称	部材	工事区分
k	揚重ビーム (据付後残置)	H-100×100×6×8	新規取付



意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	6V 10W×1灯
換気装置	ファン
扉	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t2
敷居	アルミ製
鏡	ステンレス鏡面仕上 t. 5
手すり	ステンレス製パイプ:ヘアライン仕上 (φ38) ブラケット:アルミダイカスト (銀色塗装)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上:ピス無



意匠仕様	
三方枠	大枠末広幕板付き ステンレスヘアライン仕上 (既設流用)
乗場戸	化粧シート貼仕上
幕板	化粧シート貼仕上 (既設流用)
敷居	アルミ製 (既設流用)
注意事項	
NO. 01号機 1-3階	

特記事項	月日年	回数	訂正事項	竣工図	管理者	1級建築士 前田 勝之 大田登録第81225号	E-mail office@mai-sarch-eng.co.jp	図面番号	M-3	工事名称	川越中央消防署エレベーター改修工事	
				確認者	総括設計者	承認	主任	担当	制作日	2026. 2. 27.	図面名称	エレベーター図3
						前田		栗田	Scale	A2 1:30	株式会社	舞総合設計 NI Architects & Engineers h1112/www.mai-sarch-eng.co.jp
											Fax	049-226-0404
											Tel	049-223-1001

